

総合計画見直しに向けた
高山市のまちづくり意見交換会
(まちづくり協議会)
意見概要

平成31年2月

高 山 市

総合計画見直しに向けた高山市のまちづくり意見交換会（まちづくり協議会）
開催状況

開催日	団体名	参加者数
11月28日（水）	空町まちづくり協議会	16
11月8日（木）	西地区まちづくり協議会	20
11月22日（木）	みなみまちづくり協議会	16
12月13日（木）	北地区まちづくり協議会	12
11月29日（木）	山王地区まちづくり協議会	17
12月3日（月）	江名子校区まちづくり協議会	10
11月7日（水）	新宮地区まちづくり協議会	24
11月20日（火）	三枝の郷まちづくり協議会	13
11月27日（火）	大八まちづくり協議会	13
11月14日（水）	岩滝まちづくり協議会	15
11月5日（月）	花里まちづくり協議会	15
11月26日（月）	丹生川まちづくり協議会	17
11月16日（金）	清見町まちづくり協議会	19
11月12日（月）	荘川町まちづくり協議会	18
12月14日（金）	一之宮町まちづくり協議会	15
11月15日（木）	久々野まちづくり運営委員会	16
11月30日（金）	朝日まちづくり協議会	15
11月13日（火）	高根まちづくりの会	14
11月6日（火）	国府町まちづくり協議会	19
11月21日（水）	たからまちづくり協議会	34
合 計		338

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 空町 ）

11月28日（水） 19:00～ 20:30

参加人数 16人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など）

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・道は狭いが、大型車は通らないため、比較的静かである ・中心地でありながら静かである(交通) ・宿泊、飲食サービス業に多く就いている(通勤に便利) ・環境が良い(城山、東山地域)
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・旧来からの住民の横のつながりが強い(町内会、氏子等)[3件] ・居住年数の長い世帯が多い(顔見知りが多い)[4件] ・住んでいる人の顔がみえる関係で、比較的地域のつながりが強い ・地域の絆が強いため、助け合う意識が高い(昔は長屋が多かったからでは?) ・顔見知りで安心、神社などの役でいつも一緒
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園など自然も適度にある ・山も近く、川もきれいで、自然にあふれている
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・神社・寺院など歴史的なものも多く、地域としては落ち着いている[4件] ・城山エリアを含めた寺院群の営み、観光資源がある[2件] ・高山城(金森城)の存在、復元 ・寺、城山など歴史の残る町並 ・金森時代からの中心的な地域で、歴史文化がある ・寺院、城山、煥章館などがあり、歴史ある落ち着いた静かなまち ・伝統的文化の継承地であり、長年住居を構えている家庭が多い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・煥章館があり、若い人たちが集まる場所がある

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・班、町内の新年会等がなくなった
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害発生における集合場所、江名子川増水時の居場所不足 ・江名子川の洪水が不安材料[2件] ・土砂災害警戒区域が多い ・城山周辺の倒木が心配
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の役の引き受けが難しくなる ・高齢化を止めるのは難しい ・郊外へ人が出て行き、だんだん少なくなっていく(特に若い人) ・少子化が進み、子どもの数が今後も減少する ・高齢化がネックとなり、将来の展望が描けない ・若い人が圧倒的に少ない。活動が高齢者中心となっている ・高齢化率が高い(単身高齢者が多い) ・若年層の減少 ・若い人が少ない。地域から出る人が多く、地域へ入る人が少ない ・町内軒数が少なく、話も長く続かない ・高齢者が多く、役がすぐ回ってくる。春日町 56 世帯、うち 37 人が 75 歳以上になる ・少子高齢化が進み、空家が増えている。地域活動に参加する頻度が増え、若い人達は郊外に移転する傾向がある。過疎が進み、コンビニすらない

	<ul style="list-style-type: none"> ・役の成り手がいなくなり、諸事業の推進に影響 ・高齢化や人口減少により、地域活動にも支障がでている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空家・空地等が多くなり、管理的に難しい(火災等) ・空家が多い、住宅中心の町が多く、お店や産業が少ない ・若い人が新しく住宅を建てる場合、面積が小さいなど不便である(郊外に建てるケースが多い) ・病院が少なく不便 ・他人が住むには時間が必要(慣れ) ・保守的である ・集まれる場所が少ない ・最近増えている観光客(特に外国人)に対する対応が弱い

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・住みなれた地域で安心して暮らせるよう「空町お助け隊」を立ち上げたこと[4件]
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ始まったばかりのため、慣れていない面もある ・色々なアイデアを出しながら、地域の変化に対応していきたい ・新規事業などあまり活発に取り組むと、年度途中の人員配置も難しいことから、事業実施が大変である ・まちづくり協議会の設立後4年目を迎え、進行は遅いが理解が深まり、希望が持てる ・東社教の感覚が残っており、他人任せの悪習がある(屋おしで役員が決まる。1年毎で役員、町内会長等が変わる) ・社教時代からの事業中心であるが、長く続いていて定着している ・まちづくり協議会や町内会の役員が屋おしで、任期が1年のところが多いため、新しい活動や行事が生まれてこない ・町内会どうしのつながりが深い ・役員への割当の頻度が高く、ご苦労される方が多い
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町内間のつながり(特に城山フェスタ) ・空町フェスタへ沢山の人が参加してもらい良かった(毎年やる内容は同じだが、それでも良いと思う) ・空町フェスタなどのイベントへの参加者は多い(町内間のつながりは強い方である) ・年に一度の空町フェスタなどは、東地区全域が参加し、コミュニケーションの場として成果が出ていると考える ・災害対応や行事を通して地域の結び付きに一定の成果がある ・防災組織づくり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・錦山、愛宕、白山(日枝含む)3氏子で構成する組織の解体 ・まちづくり協議会の活動拠点(東小)が地域外にあり、災害時に問題あり、またサロンのような場所がない(煥章館を拠点として整備するための設計図を出す) ・施設へ入所しているため空家になっている世帯を含めると、もっと町内の軒数も増やせると思う ・拠点がほしい ・地震対策、雪またじの利用者が少ない ・子どもが少ない、同級生としか遊ばない

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ぬくもりのあるまちづくりに努めよう
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの充実 ・高齢者に気を使えるまち ・高齢化を意識し、空家の整備を行い、「高齢者天国」を。高齢者長屋を作り、他地域より高齢者を招く(医療施設を誘致する、高齢者をターゲットとした店舗を招く) ・高齢化と人口減少を逆手に取り、市内から高齢者を集め、それを強みとした「高齢者天国」を目指す ・高齢化率の高い、小さくまとまった歴史ある住宅地であることを活かし、市内の高齢者の住みやすいまちとする(医者や店舗も増える) ・元気な老人が暮らすまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・東山寺院群をもっとアピールしたまち ・高齢者が多いことで、今昔のまちの移り変わりを残して、伝統文化を重んじる地域性を高めていく ・歴史と伝統を大切にすまち
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の事例を参考に、空家等を活用したUIターン者を増やす ・空家を利用して若い移住者を増やす。近年、外国人観光客が空町地域にも大幅に増加している ・外国人を含む観光客が、東山寺院群を巡る遊歩道を追加し、ガイドを充実させて、古い町並から誘導する ・遊歩道を整備し、外国人・観光客にやさしいまち ・引っ越して来たいまち(店、病院、施設など暮らし易さを大切にすまち) ・逆ドーナツ化現象を起こせるようなまち
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまち ・安心して暮らせるまち(人の良さを活かした楽しいまち)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ないもの探しから、あるもの探しへ ・1年1年ではなく、10年スパンで ・私が本当に住みたいのか ・城山公園地域、東山地域の森や自然を活かしたまちをつくる ・自然公園としての城山の整備 ・城山に一部、桜の木を植えれば、10年位で外見が良くなっていくのではないかな

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの長屋住宅を復活
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所づくり ・地域のリーダーとなる人物の育成(1年毎に役員が変わり継続性がない、前年度並をよしとした意識が強く、大きな事業に取り組めない) ・より強固な共助体制(お助け隊ほか) ・町内として一つの班にする ・地域の環境を良くする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域としての歴史的なものの、場所をしっかりと認識し、大切さをしっかりと把握する(守っていくものを理解)

2. 地域と市で取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策(1年待つとより困難となるため、法的に難しくても、将来に向けて推進すべき) ・空家、空地対策を進め、人口減を無くし人口増にする(地域は物件や情報の提供、行政は固定資産税等の優遇や助成金の支給など)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・城山、寺院群の整備 ・外国人を含む観光客が、観光資源としての寺院群を巡る際に、高齢者などによるガイド案内を充実する ・交通の不備がある所の改善 ・一人暮らし高齢者の生活面などの対策 ・城山の上り坂の急カーブを、今の半分くらいにしては(今のうちに行ってほしい) ・外国人観光客は、寺院・神社巡りを好むため、よく寺院等の場所を聞かれる。なにぶん、英語には不慣れなので、もっと外国語の案内板を整備すると良いと思う

3. 市が取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応(川、山、急傾斜地、江名子川)[2件]、避難場所の確保 ・防災無線が聞きにくい(山側へ、無線を増やしてほしい) ・江名子川の洪水を未然に防ぐ対策が緊急の課題(江名子川上流)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・城山の整備、東山の整備により、より安全な空町エリアの構築[2件] ・城山公園のスムーズなガイド案内板の設置(交通的に安全であること) ・一極集中しやすい古い町並からの分散、交通量の調整 ・空家活用に市が補助金を出してくれれば、町内の軒数も増える ・立て看板の整備 ・観光客が雨宿りできるような東屋の整備

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・空町まちづくり協議会の事務所を、市として東地区内に作ってもらいたい(現在は大八地区の東小) ・煥章館を利用する場合に、手続きも面倒で、まちづくり協議会は無償となるが、町内会は一部減免で有償となり負担となる ・第八次総合計画の見直しで掲げてもらいたく、本部役員会議などで具体的な候補地や予算などをまとめているところ ・東部農地開発が原因で、江名子川が氾濫するようになった ・70年住んでいるが、この10年位に洪水がはじまって、過去にはなかった ・江名子川は限られた範囲から水が集まってくる。出る水を管理すれば、災害は防げる ・避難場所を探すよりは、避難しなくても良い状況を作るほうが大切 ・現在、県により治水対策の第二次工事中だが、これで終わりではなく、調整池の整備などが予定されているとのこと ・千島松之木線でも大規模な切土の発生など、影響があると聞いている ・地下浸透式の側溝、個人で雨水貯留設備を整備する事業への助成など、市としても雨水対策を進めてもらいたい

地域のまちづくりに関する意見（11/8 西）

地域名（西）

11月 8日（木） 19:00～20:50

参加人数20人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など）

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・古都（東京や名古屋など）からほど良く遠く、田舎が良い ・市街地であるため、人の出入が多く、情報の流出、流入が多い。 ・都市機能の集積地 ・高山の中心的な役割（行政、第3次産業）を担う地域である ・観光、歴史、文化等の動線上に住まいや商店街がある ・飲食、宿泊、小売業などが活発である ・暮らしやすい ・高山の花火大会など市民が集まる場所・行事がある ・情緒豊かな地域である
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな町内で全員が顔見知り（末広町） ・住民のつながりがある ・昔から住んでみえる方が多い ・引越してみえた方も町内活動に協力的 ・商店街連合会の傘下に属する小売店、飲食サービスが主体であり、集客に努力している ・年寄りが多く、地域の歴史をよく知っている方が多い ・仲がよく、語りあうことができる
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内活動（火の用心夜回り、遠足、消防訓練、清掃活動等）を何とかやり切っている ・西地区 28 町内会があるが、それぞれうまく町内会が運営されている ・いろいろな行事ができる町内会
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川河川敷、総社等、美しい自然環境がある ・まちをきれいに保っている
歴史文化資源	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や伝建地区がある ・屋台をもっている

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・向う三軒両隣が何をしているか、家族構成も知らない ・多様性がありすぎる ・町内会への参加は行事活動のみで若者を取り込めていない ・町内会加入率が年々下がっている ・景観の維持が大変 ・電柱、古い設備（アーケード）があること ・民泊が多くなり不安 ・防犯対策（防犯カメラ）が必要 ・商店街の元気がない ・小さな町内会が多く、西地区全体でどうすれば良いかという考えはまとまりにくい
人口減少（少子高齢化）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による活気減少 ・女性のみ世帯の増加 ・町内会の役員を何年もやっている ・高齢者は元気だが、若者が少数で仕事に忙しく生活している

	<ul style="list-style-type: none"> ・空家、更地が増える ・独居世帯の対策 ・後継者不足 ・祭の維持ができない ・若い人が少なく、地域のことよりも仕事を中心である
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減り西小学校を維持することが出来ない可能性が高い ・小学校6年間で1クラスで過ごすことはいかがなものか。子どもの教育を考えるなら早期に対応を考えるべき
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・古い町並が賑やかすぎる ・上一や上二では外からの事業者が運営しているが、店舗内での商売をして欲しい ・昔からの考え方の変更は困難 ・中心市街地顧客の老齢化 ・伝統文化の維持に苦労させられるため、他地域へ移住している ・人口密度が高く、これから開発を行えるような地域ではない ・まちに縛られることが多い ・伝建地区などにより、規制されるため住みにくい

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの維持 ・町内の結束が強くなった
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の参加者が少ない(児童数が少なく催し物への参加が少ない) ・西まち協にとって28の町内会の意識が出てきているかが課題 ・町内会長の若返りが必要では(年齢制限をもうけるべきか) ・他の地区より多種多様の取組みをしているため羨ましがられる ・高齢者が多く、敬老会運営は順調 ・成果が理解できない ・他町内会の人々とのふれ合いができる ・町内会ごとの状況がわかりやすい ・西まち協は、西社教で実施していた行事は残すというスタンスでスタートした ・町内会からの会費を安くした ・役員を減らした
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県、市でも上手くできないのに、地域で何ができるのだろうか ・西小学校の将来が課題

③地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える地域づくり ・人と人のつながりを大切にしたい住みよいまち ・お年寄りの知恵を活かした住みやすいまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史、文化、豊かな住みやすい町」というソーシャルキャピタルの向上により、持続可能なスパイラルの構築

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外の活性化が牽引すると考える ・観光エリアの拡大によるスローな観光振興のまちづくり(徒歩、自転車生活、滞在体験等) ・産業誘致が必要 ・みやげ物中心の街がいつまで続くのか不安 ・町内の住民アンケートをとり、将来像を話し合いたい ・各地区の個性を活かす校区づくり ・観光の良さを活かし、子どもが大学へ行っても将来高山へ戻ってきて働くことのできるまち
-----	---

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

連携	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い、話し合いによる相互理解 ・子どもを大切にする ・子どもを持つ親が安心して住める地域とする
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内アンケートを実施し結論づけたい ・町内会力をあげる(町内会行事を充実することができるようまち協が支援する)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしくなること ・「維持」「発展」といったカテゴリーから議論を進化させていくべき ・計画の見直しのヒントなっても住民意見の担保にはならない

2. 地域と市で取り組むこと

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の入会率を上げ、100%を目指す
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・お金と人を集める ・サービス・景観・生活の質の向上

3. 市が取り組むこと

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーの活用 ・市が外貨を稼げる産業に力をいれる ・祭を観光資源と捉え、伝統文化に対する助成
-----	---

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方と若い方では考え方が違う ・川西、川東で考え方や伝統が違う ・高山市の中心地域として、産業やデザイン、IT など知的な人たちを呼び込む地域としたい ・火災警報を外国人観光客が怖がっているため止めてほしい

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 南 ） 11月22日（木） 19:00～20:40 参加人数16人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の中心にあり公共施設や商業施設がそろっており便利 ・交通の便もよく高齢者にとっては便利[2件] ・高山の玄関口(高山駅) ・多様な地域(商業、農業、ホテル、スーパーなど)、利便性がある ・保育園、小学校、中学校があり、子育てがしやすい ・静かな所、交通の便がよい ・歩いていける範囲に駅、日赤、病院、金融機関、スーパーなどがある[4件] ・主要施設(駅、市役所、スーパー、バスセンター)が身近にある ・土砂崩れなどの災害の心配が少ない ・駅東の商店街、駅西の住宅など地区の二重構造が融和している ・駅の自由通路の開通により便利になっている ・医療機関が多く、小さい子どもを育てるには安心 ・大型店舗が多く、買い物に便利でにぎやか[2件] ・県事務所、小中学校、文化会館、文化財(陣屋)がある
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・古い人々の知り合いが多く絆が強い(祭、行事など) ・隣近所とのつきあいがある ・地域のつながりが強い、町内の人がお互いにわかっている
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や長寿会の活動がさかんで、皆が顔見知りである ・見守りができる ・町内まわりに小木を植えたり、花壇づくりをしている ・1丁目、2丁目の交流として合同盆踊り開催
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・里山がある
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な文化と高山祭等があり、観光客(特に外国人)が多くなってきている ・歴史文化(陣屋、飛驒の里など)がたくさんある

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により祭がこれからどうなるか心配 ・集合住宅が多く、町内会の未加入が多い[2件] ・町内会の活動が大変 ・町内の役を担う人が少ない
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応が不安 ・山が近いので倒木が心配、秋の落ち葉に困る ・苔川周辺に避難勧告がよく出される(支流が越水することが多い)
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が多く、独居老人が増えている[2件] ・家族の中でも年寄りと若夫婦の別居などがある ・少子高齢化が急速に進んでいる ・若い人が少ない、高齢者が多い[2件] ・子どもが成長して地域に居つかない ・高齢者世帯が多く、防災、除雪などの対策

	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東地区は高齢化が進み、空家、駐車場が増加し、地域としては以前と比較して希薄になってきた
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が多いため、防犯やごみ等について心配 ・観光客による混雑、駐車が難しい ・総合福祉センター利用者の駐車が難しい ・雪を片付ける場所がない、排雪ができない ・空家が増えてきた ・従来の小さな商店が減少 ・駅・スーパーは近いが、交通の便が悪い。バス停まで坂道ばかり ・民泊への不安がしばしば聞かれる ・買い物難民 ・不動産(土地)が高価 ・古い家の立て直しが難しい ・駅西の交通アクセスが充分でない ・JRによって駅東と駅西が分断されている ・小学校に通う子どもがバイパスを横断しなければならない

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・長く続く見守り隊は、お年寄りから育友会まで皆でつながっていて、子どもを守っている ・除雪などのボランティアの取り組み
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協に対していろいろな意見が出てきているが、これは逆に考えると住民の皆さんがまち協に関心を示されていると思う ・まち協での講座からご近所さんを集めての講座を開催するようになった ・まち協の事業など近所の人にも話すことが必要だと思う ・魅力ある行事を考えてほしい(若い人を取り込む) ・まち協に関わったり町内の役を受けたりして、意識できるようになった ・興味がない人には届かない ・社協時代からの変化が実感されていない ・認知度が低い ・まだまだ浸透しているとは思えない。前の社協の延長上 ・まち協の活動への実感が希薄 ・若い世代の参加が少ない ・ふれあい文化祭、敬老会などでの世代間の交流が進められた
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会との連携、徐々に機能しはじめた
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災意識をどう高めていくのか ・市自体何を期待しているか不明 ・町内の活動は、高齢化が進み、参加者の激減により行事ができなくなっている ・町内会としてはたくさんの取り組みができている。子どもの育成にも力を入れている

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の絆をより強くするために、気楽に参加でき、集うことが楽しくなるような催し物（例：健康講座的なものやためになるもの）を作っていく ・若者が積極的に参加できる、してくれるまちづくり ・若者が活動することにより地域住民がついていけるまちづくり ・近所の方とのコミュニケーションをはかり、少しずつ大きくして町内がひとつになればいい
---------	---

	<p>いと思う</p>
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ自分達一人ひとりの良さを活かし、お互いを思いやるまちづくり ・高齢者だけでなく若い人も協力してもらい活気のある地域にしていきたい ・近所の人々や地域の人々が互いに助け合い、譲り合う環境づくり
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大人になって帰ってくることのできるまち ・住環境の向上した地域となり、少なくとも子ども達が郊外へ移住することのない地域になること
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子ども、お年寄りを見守るまち ・若者が老人を助け、老人が老人を助けられる社会 ・老人を大切にできるまちづくり
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心のまちづくり[2件] ・災害のないまちづくり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が自由活発に遊べるまち ・老人(独居・女性)にあたたかいまち ・町内会のまとまり、活動の進展が望めるように ・住民が喜んで参加できる行事の開催 ・子ども達が気軽に参加できるイベント ・町内の未来は子ども達にたくすしかないので、子どもの育成に力を入れていきたい ・歩くことができる老人が歩けば歩くほどポイントがたまって、ポイントはバス・タクシーの乗車料金の補助として使える

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、町内の枠を超えた、高齢者が楽しむことのできる空家利用等を考えた施設作りをしていく ・地域の将来像を考える会(年代をこえたメンバーの参加)
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心なまちづくり ・空家が増えることに対する不安があるが、地域として取り組むことがわからない ・高齢者が安心して生活できるまち(雪またじの心配や災害のこと) ・市と地域で雪またじについて考えていかなければと思う ・防災。実際に動ける体制づくり ・具体的な防災対策(耐震関連の説明会や要支援者対応、各町内での防災訓練など) ・子どもの見守り、お年寄りの安心安全確認 ・調整池を作ってもらおうよう活動している
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の発掘 ・転入者への町内会加入への呼びかけ ・地域の絆を深める ・地域をほりさげ、よい人材を見つける ・町内会未加入者を把握し、加入していただくように話す ・まち協主体の勉強会、講演会 ・いろいろな人が参加しやすいまち協 ・地域住民レベルで取り組めることはほとんどないのでは ・各種イベントへの参加のしかた
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により空き店舗、空家などが多くみられるようになるため、再利用を考えていく

	・公共交通のらマイカー、まちなみバスの積極的利用
--	--------------------------

2. 地域と市で取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所を通報し、市が整備する ・防災訓練は地域毎で小規模に具体的な事柄に特化して実施。市は指導者や資材等の提供を ・水害をなくすため、農地にも調整池を作るようにしてほしい
地域活動の推進	・まち協の役割、市民の皆さんへのお願い等、説明が不十分
その他	・使いやすい補助金

3. 市が取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策 ・除雪 ・私の家の横に30cm程の通路(私有地)があるが、観光客がスマホを見ながら時々入ってくるので不安です(裏の通りに民泊があるため) ・東地区に災害避難所を設置 ・災害時の要支援者登録をどのようにすすめるのか ・防災行政無線が聞こえない ・排雪溝の抜本的改修
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が正社員として働ける市 ・産業の誘致 ・若者(大卒者)の就労できるまち
福祉	・福祉タクシー
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加するため、もう少し公共のバスなどの本数を増やしたり、公共の足を多くする ・使いやすい補助金 ・市の回覧物をより読みやすくする(回覧が遅れる) ・市の広報に町内会加入のすすめを掲載する ・まち協に対する補助金をもっと使いやすくしてほしい ・民泊経営者への指導 ・市民文化会館の建て替え ・映画館新設(復活) ・まち協に対する補助金の増額 ・バス、タクシーなど公共交通の改善 ・市は観光客がどのくらい来ればよいと考えているのか。観光客が多すぎてオーバーツーリズムになり地域住民が迷惑する所があると聞いている(京都など)

地域のまちづくりに関する意見

地域名（北） 12月13日（木） 19:00～20:30 参加人数12人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など）

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署、警察署がある ・ビッグアリーナがある
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が元気であいさつもしっかりできている ・都会に比べると隣近所に住んでいる人がわかり、会話もあるため近況がわかり、いざという時に役立つ ・近所付き合いが良く、何事にも積極的に参加していただける
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中でも最も人口は多いが、行事等の参加率は高く、町内の交流や北地区の交流が出来る ・敬老会、グランドフェスタなどを見ている、とってお元気で若々しい。ハツラツとしている ・祭事を行うときは皆が協力的なところが多い ・苔川清掃 ・小学校のスキー教室では保護者の協力で2回行えている ・町内会の加入率が高い
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・神社 ・祭
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯数は増加傾向であるため、活気がある ・治安がよい ・お年寄りが元気 ・住みやすい ・他の町から見ると子どもが多いように思う ・人口が多い ・災害が少ない ・子ども、若い人が多い ・公共施設がある

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅の人が町内会に入ってくれない ・町内会が12あるが、町内によっては世帯数が少なく、町内行事や役回りの難しい町内がある ・生きがいを持てるような活動を計画し、参加してもらえよう広報すること ・町内会の大きいところと小さいところの差がある ・町内会に入らない人が多い ・昔からの団結についていけず、町内会に入らなかったり、近所づきあいを嫌う人が増えてきた ・人数の大きい町内会と小さい町内会があり、差がありすぎる ・地域に集う場所が少ない
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に情報不足で不安を感じる方が多い ・河川にはさまれていて災害が心配

	<ul style="list-style-type: none"> ・町内が高台にあり災害時が不安である ・一人暮らしの高齢者が多いため、何かあった時の緊急連絡先がわからない ・北山急傾斜地の土砂くずれ、大八賀川の洪水など心配事が多い
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが増えている。独居老人も増えており、コミュニケーションがお互いに取りづらくなっている ・高齢化が進み、独居老人が一段と多くなってきている。今後の対応の仕方が難しい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アパート・マンション等が増加したため、つきあいが希薄になっている ・元気なお年寄りの方々の知恵を生かしきれていない ・歩いていける公園が少ない ・年寄りの行くところがない ・人口増があるものの、マンションによる増で、一軒家が少ない ・気軽に行ける居酒屋が少ない ・成人式がフローラ

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会での行事には参加するが、まち協になると役員だけの参加となる ・グランドフェスタ等イベントが多く開催されている ・まち協の行事が増えるほど、役員などの負担が増える ・参加者が同じような人ばかりになる ・運動会、社教活動、子どもから高齢者まで活動できる ・何度も会議を重ねて準備をするため、行事等の参加人数、盛り上がりも多く、喜ばれている話は良く聞く
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・交流ができています
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの設置等、老人達のふれあいの場所を作ってよかった ・地域全体として活気が見えるようになってきた ・地域でのウォーキング等のコース整備があるとよい ・グランドフェスタ時の禁酒

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所が話し合えるまち ・お年寄りの知恵を活かし、ハツラツとしたまち ・高齢者から子ども、全体がいつでも声をかけあえられるまちづくり ・高齢者のパワーを活かす場所、行事を増やしたい ・地域の絆、最低でも近所の人顔を全員覚えてもらいたい ・できれば北地区全員が家族だと思って接するような環境になってほしい ・地域の絆、隣近所のつながり
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえ独居の方であっても皆で見守り、さびしさを感じないまち ・地域のつながりを活かし、協力しあえるまち
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが将来この地域に戻ってこられるまちづくり
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化がたくさんあり、参加することによってつながりを作る
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢男女問わず一人にしない(孤独死等を起こさない)
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心して住めるまち ・子ども達が元気に安心して遊び、学べるまち ・治安がよく、災害にも強いまち
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代も本当に楽しめるイベント、参加してよかったと思える行事の魅力で、転入者を増

	<p>やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人、老人等と共に楽しめるような行事を多くする ・人口の多さ、班ごと、町内ごと、まち協の行事の多さを活かし、活気あふれるまちに
--	--

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りのボランティア登録（散歩でベストを着て見回り、趣味の講座立ち上げ） ・ばあちゃん食堂、ばあちゃんカフェ
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いが助け合える町内 ・全世帯が町内会に入り、活動に参加すること ・住民の情報（世帯構成、年齢など）をきめ細かくつかんでおく ・助け合い、見守りなどの体制を整える ・隣同士が声をかける班組織の再構築 ・ユニークな行事、興味をもってもらえる行事 ・町内会での全体行事の活性化 ・町内会として、会員にまち協行事に対し参加を促す

2. 地域と市で取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・体制づくり（災害等のため） ・災害時の対応（避難場所の見直し、避難指示が出ても避難しない、避難所の対応状況がわからない）
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アパートに住んでみえる世帯の町内会への参加を促す ・子どもを中心とした行事を作る ・新しい町内で子育てが終わればお年寄りばかりになる ・空家が増える ・高齢者が参加できる小さくてもよい行事を ・元気なお年寄りを活動に導く ・町内会未加入をなくす ・町内会への加入促進

3. 市が取り組むこと

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅であっても町内会加入があたり前であるという意識を高めるようなPR
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢の方の災害時の対処を考えてほしい
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が高山で就職できる職場が少ない ・あらゆる企業に高山にきてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少なくならないように ・道路等の整備（歩道、通学路の整備）

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・北小学校体育館は雨漏りし、卸売市場の耐震化はできておらず、下水処理場は老朽化している。公共施設は必ず老朽化するものであるが、それに対する市の対応は遅いと感じる
--

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 山王 ） 11月29日（木） 19:30 ~ 21:00 参加人数17人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで住みやすい ・近くにスーパー、病院、コンビニ、ドラッグストア、銀行等があり、比較的便利である ・平坦地が多く、比較的大きな災害が少ない
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・各軒1名とはいわず、女性みんなで協力している ・山王祭による連帯感や人と人のつながりを強力にしている。獅子組としての活動は特に力が入り、体制を整えている
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・夜回り ・子どもの見回り、声かけ ・人口が多い分、まち協の活動もにぎやか ・リサイクル活動など積極的に取り組んでいる ・石浦町だより(広報誌)を毎月発行 ・石浦の秋祭りはとても盛大。老若男女皆で盛り上がっている ・まち協による花かざりなどが身近になっている。町内会長を中心に動いている ・地域の方々による子ども達の見守り活動が毎日行われている(毎朝登下校時の声かけ) ・町内会とまちづくり協議会の協力がうまくなされている ・人口が多い。何かの行事を行うのに人集めしやすい ・町内の運動会を継続して実施している(50周年)
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで歩きたい場所がどれだけでもある ・四季の森林浴、宮川は住民の「こころの清流」である ・自然が多いので安らぎます
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・山王祭[2件] ・古い町並 ・伝統的建造物群の多くがこの地域にある ・伝統文化が比較的たくさん残っている ・伝統文化を守って祭を続けている ・屋台蔵があり屋台があるため、町内行事より集まるとまとまる ・地域の神社、獅子組がある ・祭などにより町内がひとつになれる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が多い ・店舗が多い ・飲食店などが近い ・観光産業が多いことは強みであり、一つ狂うと弱みにもなる ・小学生が礼儀正しい ・公共施設が多い ・スモールコミュニティなので、生存確認しやすい ・古い町並では獅子舞、雅楽、浦安の舞などを取り上げて守る ・市内ではめずらしいフリーマーケットを開催している(片野商工会主催)

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での温度差がある ・行事の参加者が少ない(特にまち協行事) ・町内会の加入率が低い中で、まちづくりについてのPRが行き届かない ・町内会のほかに、屋台組、商店街など組織がいくつもあり、Uターン者や新しい人が理解しにくいのではないか ・古い町並がある町内では人が少なく、町内の役がすぐまわってきて大変といわれている
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の防災無線が聞こえない。台風で宮川が増水した時にわかりにくい ・山と川が近いため災害に弱い
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の世帯数が少ない ・若い世代がいない[2件] ・高齢化で若い担い手が減ってきている。山王地区以外から人を借りたりしなければならない ・少子高齢化がすすみ30年程前の活力は失せつつある。世代交代が順調に進んでいない ・山王祭の担い手がいない ・高齢者が多く、空家の問題や独居老人の問題がある[2件] ・担い手不足(町内会への参加) ・高齢化の進行で伝統文化の継承が困難になっている ・人口減のなかでの持続可能な地域づくりが肝要である ・高齢者の1人住まいが多い ・少子高齢化で町内、まち協の役をできる方が毎年のように役を受けて、1家庭1役どころか1人1役という現状
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・(市全体で言えることだが)第一次産業が伸びていかない。従って、若者の職場は少ないのではないか ・森下・片野・石浦とそのほかの6町内会の人口差が大きすぎる。6町内会では、町内会活動が難しくなりつつあるような気がする ・新世帯が増えてきて、町内会に入っていない人がいる(知らない人がいる) ・石浦町は人口は多いが、町内会加入率が低い ・町内でも減少している班がある。役がすぐ来る ・転入者が多いという傾向があるのに、町内(班)に加入されない方が多くなってきている ・人口が多いため、逆に他人任せな印象がある ・三町の中で、上一之町が一番広い通りのため、交通量が多い ・外国人が多く、マナーが悪く、まちが汚れる ・祭に関して、市の中心より少し離れているため、観光客の誘引にはならない ・住民の顔がわからない ・市街地のおみやげ等、外部の業者によるものが多い ・観光客の受入れ体制が不十分。駐車場不足 ・隣近所のつながりが以前と比べて薄くなっているように思える ・夜暗い ・観光ブームが去った後が心配 ・一方通行が多い ・アパートが多く町内会加入率が低い[3件]。特に市営住宅入居者が町内会に未加入

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・山王地域内のふれあいがある
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会、文化展を毎年かさかさ行っている ・まち協でも町内でも、役員が協力し合いながらいろいろな行事を盛り上げようと努力しているが、役員だけのものになっていないだろうか。どうPRしていくかが大事 ・もっと文化展等の行事に参加するようにしたい ・まち協の活動は良いつながりとなっている。子ども体験教室などもまち協役員、協力者などが一体となり動いている。子ども見守り地域での見守りが良くされていると思う ・敬老会、文化展、子ども会等事業を行っている。参加者も多数参加され良い。若い転入者の参加率が低いのでは(町内会加入も含めて) ・まちづくり協議会はコミュニティ活動をより活発に繰り広げるための核となっている。子どもと老人に対し元気を与える活動を行う ・参加する方にかたよりのある。例えば、ほとんどが女性、リピーターなど。講座の内容も考える必要がある ・町内運動会が50周年を迎え、中日新聞に掲載された ・同町内でまち協の行事に役がある方以外(敬老会を除く)参加していないような気がします。町内、まち協の活動も役をこなすだけで精一杯
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内にはいろいろな組織、団体があり、中でも町内会やまち協が核となっている。活動を通していろいろなつながりがすでにあることや定義づけをすることで、つながりがより明確になってきているように思う ・山王地区9町内が交流する場が多くなった
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操 ・花いっぱい運動 ・敬老会 ・人口減少や少子化により、子ども会活動が難しくなっている ・6町内会で行ってきたクリスマス会が今年はとりやめになった。今後どうするかは課題となる ・祭の時だけではなく、連休が多いことで混雑する通りをどのように流していくか ・山王まち協主催の子ども体験教室は、たて・よこのつながり、学校間のへだたりをこえて、子ども同士のつながりが期待できる。学校の協力を得ながら地域の教育力を生かせる活動である。地域ぐるみで児童の健全育成が図られる ・まちづくり協議会がどのような組織であるかよく理解していない人もいることが課題 ・事務所の場所を学校から他の場所へ移す ・まち協の存在を知ってもらうことが必要 ・役員の継続性が大事と思う ・安全安心まちづくりによる地域見守り活動、人づくり、地域交流、環境整備、女性部活動などと、獅子舞などで地域振興につながっている

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいがあり、困っている人がいたら助けあえるようなまちづくり
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・若い者が住み続ける
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、山王祭+八幡祭=高山祭と(行政的に)しているが、まだ市民全体のものに具体化されてきているかは疑問。もっと市民全体で支える祭への発展を考えていけるとよい。市民の誇りにしたい ・古い町並、屋台などの伝統を生かしたまち

	・伝統文化を守り、規律正しいまち(地域)
福祉	・障がいを持った者(児)にやさしいまち ・発達障がい等の教育、子育て等充実したまち
安全・安心	・みんなが笑顔でいられるようなまち ・若者が定着し、老人が安心して生活できるまち ・犯罪のないまち ・子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち ・子ども達が安全に安心して外で遊べるまち ・まち協内の各部門の連携を活かした安全安心なまち ・犯罪(児童や老人、障がい者に対する虐待、ネグレクト、DVなど)を未然に防ぐことができるまち
その他	・島根県のとある市ではシングルマザーを呼び込む活動をしている ・高山は保守的、外から来る人を受け入れにくい地域性がある ・閉鎖的でないまち ・若者の定着するまち ・なじむと良いまち ・将来像が見えない ・若者が戻ってきても働く場所がある ・観光客・移住者等に魅力的なまちづくり ・特に子どもと老人が意識を高めて元気が出るような行事をまち協が考えていく。まち協が核となっていると皆が実感できるような存在になるようにしたい ・伝統の息づく地域を元気にする人材を育てる ・若者が定着できるまち(企業誘致) ・企業誘致を ・他市のよい所を参考に ・事務局を別の建物にして、事務室とサロン室をつくる ・地域の企業と連携する ・地域の人材育成を目指すために学習を取り入れる大学と連携して学部の新設を図る

④将来の地域のため取り組めること (お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること)

1. 地域が取り組むこと

交流の場	・地域に住む高齢者、子どもの顔がわかる
地域活動の推進	・長寿会というくりも大切であるが、山王まち協の言う「なかよしご近所」運動をもっとすすめること(私的、自発的、自然発生的コミュニティ) ・地域行事への参加、参画 ・空家対策、独居老人対策 ・まち協が活発に子どもと老人に対しての行事、講座等を行う ・地域活動を元気にして持続させること

2. 地域と市で取り組むこと

連携	・郷土教育の一環として、小中学校の児童・生徒が地域への関心を高めている。教育にもっと関心をもって取り組むことが大切
防災・安全対策	・今年4回(延べ6日間)の避難所開設を行ったが、防災体制のマニュアル化、指導、教育等の強化が必要である(片野会館) ・高齢化に伴い単身(1人暮らし)の高齢者(要介護)の災害等対策

地域活動の推進	・町内会の加入促進
---------	-----------

3. 市が取り組むこと

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に入っただけのような環境作り ・町内会加入率向上に向けた他市町村の取り組み調査、高山市への展開
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・さんまちの交通対策 ・防災無線の明瞭化 ・防犯灯の設置 ・防災体制の強化、災害時・緊急時・非常時の対応、仕組みづくり ・魅力あるまちづくり(インフラ含む)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・山国でもできる1次、2次産業と観光産業の育成 ・働ける環境作り、雇用 ・Uターン政策 ・若い人達がしっかり働ける場所の確保 ・新エネルギー(自然)の産業化
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他県・市などでモデルとなる所を出す ・他市の良い所を参考にする ・市で大学誘致 ・モデル地域の作成 ・子どもの人口が増加するような施策 ・整備改善要望に対する実施率の向上(継続で再申請する件数が毎年多い) ・市議会議員の定数削減 ・木質バイオマス・小水力の活用促進(個人に対しての補助) ・人口を増やすなど大切なことはたくさんありますが、小さなことからまちが大好きといえる人達を育ててほしい ・世帯主が高齢なうえに病人であったり、ニートであったり、音信不通という世帯がある。私の住むまちは小さいので隣人がどのような状態であるか分かる。細かな情報発信をやすく理解しやすくする必要がある。少しずつプロの力を借りて、地域の人々に発信することが大切

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減り、祭屋台を引くことができなくなる。市民全体で支える仕組みが必要 ・6月の豪雨災害で片野公民館が避難所となった。避難者には高齢者が多く、トイレにいくときに転ぶ危険があるため、車イスを1つは配置してほしい

地域のまちづくりに関する意見

地域名（江名子） 12月3日（月） 19:00 ～ 21:00 参加人数 10人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など）

強み[地域の良い点]

地理的条件	・交通の便が良い(美女街道、山王トンネル、江名子松之木線)
人のつながり	・若い世帯が増えている(幼少時代から横のつながりがある)
地域活動	・子ども見守り活動(H30年大臣表彰受賞) ・町内会を越えたつながり(江名子校区内のつながりが強固でまちづくりが盛ん) ・花壇づくりが盛ん(フラワーコンクールに参加し入賞)
自然資源	・自然(乗鞍岳がきれいに見える、旧江戸街道)が豊か ・農業(高冷地野菜、ほうれん草、飛騨トマトなど)の生産性が高い ・花の都(桜ヶ丘八幡宮、御旅所、賀茂神社お旅所の桜)
歴史資源	・歴史文化(岐阜県史蹟田中大秀翁、岐阜県史蹟荏名文庫、延喜式内荏名神社、賀茂神社、桜ヶ丘八幡神社、荒神社、畑殿屋敷跡、源十郎の墓、駕籠訴の墓など) ・伝統芸能(徳兵衛獅子、松原獅子、鬨鶏楽、雅楽、巫女の舞など) ・民話(椀貸せ岩、錦橋、八百比丘尼など) ・特産品(国無形文化財江名子ばんどり)
その他	・畜産業(飛騨牛)が盛ん ・校区内に事業所(働く場所)が増えている

弱み[地域の課題]

地域活動	・町内会等役員のなり手不足 ・コミュニティセンターの設置 ・若い世帯の町内会への加入率が低い(長寿会も低い)
災害	・江名子川が十分な川幅がない為氾濫する。改修が必要 ・災害が多い地域 ・非常時に集まる公民館が危険であり使用できない(錦町、下江名子町)
人口減少(少子高齢化)	・桜ヶ丘町内会の復活 ・少子高齢化が進んでいる(特に荏名団地) ・農業や伝統芸能等の後継者不足
その他	・江名子保育園や江名子小学校の改築 ・道路の整備(歩道の整備、外灯の設置) ・江名子松之木線の早期着工及び開通 ・私道除雪の実施 ・商店(生鮮食品)や公共施設がない ・高山厚生病院の存続 ・若い人が安心して遊べる公園がない

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・長い時間をかけて取り組むことが必要 ・役員の受け手が無いため、若手でも役を受けられるようになって欲しい ・まち協への意識を浸透させる ・社会教育教養講座の実施（詩吟、日本酒、ワイン講座の開催） ・町内対抗大運動会（校区内の各町内会対抗運動会の開催） ・高齢者の居場所づくり事業（え～まちサロン、お出かけ事業、敬老祝賀会の実施） ・防災総合イベントの実施（ザ・防災イベントの開催） ・スポーツ教室の実施（軽スポーツ教室、グラウンドゴルフ大会、ボーリング大会の開催） ・子ども会育成事業の実施（親子茶会、ピザづくり、ドッチビー大会、ペットボトルロケット体験等の開催） ・女性部親子交流事業の実施（バスハイク、ウォーキングの開催） ・家庭教育事業の実施（親子郷土歴史講座の開催） ・広報活動（え～まち広報紙の発行、ホームページの更新） ・各町内会活動が盛んで充実している ・江名子小学校の教育レベルが高く子どもたちのいじめがない ・まちづくり協議会の事務局体制が良い ・まち協独自の行事により、自分で自分の首をしめることもある（まち協の会議が多い）
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンがいてくれる ・まとまりがある ・まち協に対する地域住民の意識の乖離
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教育レベルが高い（いじめがない）

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の顔が見えるまち ・みんなが集えるコミュニティセンターがあるまち
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の活性化 ・子どもと高齢者がともに話し合っ過ごせるまち
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けたいまち ・学校と町内のつながりを強くする（高齢者の学校行事への参加）
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心して暮らせるまち ・子どもを安心して育てられるまち ・災害のないまち ・災害時に助け合えるまち
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で生きがいを持って暮らせるまち ・若い世代の人が高齢になった時のまちづくりを考えてもらいたい ・高齢化が進むと医療費や年金の問題が生じるので、もっと子どもを増やす施策をすることで子どもが増えれば働き手も増え、そのような問題がよくなる ・子どもを育てやすい施策（国の政策が必要）

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者の交流事業の推進（子どもも大人も楽しめるイベント） ・絆づくり
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守り事業

安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の充実 ・防災イベントの実施 ・避難所運営マニュアルの作成
-------	--

2. 地域と市で取り組むこと

人のつながり	・高齢者にやさしいまち
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団への加入促進 ・高齢者の為の買物代行や修理など(窓口はまち協でボランティアチームの体制づくり)
地域への愛着	・子どもころからの思いやり、郷土愛が持てるまち
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所における備蓄品倉庫の設置 ・交通安全活動の実施
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のための予防対策(認知症予防) ・高齢者の憩いの場所の提供

3. 市が取り組むこと

連携	・町内会への加入促進
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線が聞き取りにくい ・防災ラジオを各家庭へ無料配布 ・急傾斜地の安全確保 ・避難所における備蓄品倉庫の設置
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・江名子松之木線の早期着工及び開通 ・道路整備 ・観光資源の活用 ・子どもが安心して遊べる公園の整備 ・子育てに関する市の政策は継続してほしい ・労働環境の充実 ・錦町公民館は老朽化のため、改修が必要

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 新宮 ） 11月 7日（水） 19：30～21：00

参加人数24人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・土地に余裕があり、ゆったりとした地域 ・自然が身近に感じられるが、交通網も発達しており、とても便利 ・幼稚園・保育園・小学校・高校がある ・住居がほどほどに広がり、住環境は比較的良好 ・工業団地が多い ・原山公園[2件]
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・団結力がある。まとまりがある[6件] ・人間関係が濃い ・年齢を越えたつながり ・近所付き合いが良い ・町内に関しては、横のつながりが良い ・地域の連帯がある ・地域のきずなが強い ・地域で子どもを育てる風潮がある
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・当町内は戸数は少ないが、ほとんどの世帯が町内会に加入しているため、行事等で相当に細かい付き合いが可能 ・長寿会活動が活発で、町内行事等への参加・協力も積極的である ・町内会加入率が高い[2件] ・町内連絡が密[3件] ・消防団が若い
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か[7件] ・自然に囲まれていて住みやすい[2件] ・全体的に山林・田畑が大半を占めており、農村風景が日本の原風景のような地域 ・田畑が多い、農業がしやすい環境[2件] ・自然環境(山・川・農地)のバランスが良い ・北アルプス(飛騨山脈)が見えて景観が良い[2件]
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り等が継承されている[3件] ・歴史的な恵みのある地域(山田城・畑佐城跡等、新宮神社での旧地歌舞伎) ・歴史上の人物が3人出ている ・歴史文化を大切に保存している ・ふるさとの歴史が伝承されている ・ふるさとの物語(大原騒動、上枝村史等)が伝わっている ・松倉城下
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世帯が多い ・子どもが多い ・介護施設が多い[5件] ・I・Uターナー者の増加
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧の世帯が半々で、古い伝統を重んじつつ、新しい意見も活発に出る ・強みはない

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない[8 件] ・自主防災等の組織 ・災害時の町内支援が多い ・災害に対する取り組みが強い ・穏やかに生活できる環境。のどかな町である[2 件] ・農業関係 ・農業従事者が多い ・食関連産業・製造業など雇用のある場がある(ミートセンター、飛騨牛乳、飛騨農産、介護施設)
--	--

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内での横のつながりが欠けている ・行事が多い[2 件] ・町内会加入率が低い[3 件] ・町内会に加入していない世帯との断絶 ・移住者の町内会加入が少ない ・高齢者が多いので、行事に偏りが出る場合があるが、参加費を低くすることで参加率を高めるようにしている ・高齢化で町内会を抜ける ・新しい町内会加入者が町内役員を受けてくれない ・子どもをはじめとする若い力が年々先細り、弱くなっている
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用水が少しの雨でも土砂が堆積してしまうので、農業へのリスクとなっている ・防災体制が脆弱。組織づくり、訓練の実施が必要
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯で車がない人々は、交通手段が少なく不便 ・少子化 ・高齢化[2 件] ・高齢化による介護や生活に対する課題がある ・独居老人の増加 ・農業の担い手がいない[3 件] ・若い担い手が少ない[3 件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人付き合いが面倒 ・交通の便が悪い[11 件] ・スーパー等がなく、買い物が不便[15 件] ・特産品がない[5 件] ・市・県・国からの情報が入りにくい[3 件] ・原山スキー場の有効利用は検討されているようだが、取り組み方が遅い ・耕作地が増えている ・遊休農地が今後発生する見込みがある

②まち協などの地域活動の成果等(地域での取り組みの成果、課題、改善点など)

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の負担が重い ・役員の負担感が大きいので、役員を引き受けてくれる人材が年々少なくなっており、行事等の参加者も減っている ・行事を通して、人とのつながりが生まれた ・行事が多すぎる[3 件] ・高齢化で活動に課題がある
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事は全体で取り組むなど、一部ではあるが、がんばっている人はいる ・まち協の取り組みに温度差がある[3 件] ・文化祭・敬老会等の協力体制ができている[2 件] ・運動会・文化祭・敬老会等の参加者が多い[2 件] ・それなりに運営はできている ・皆で協力して事業ができた ・まち協の行事の見直し。イベントから地域の人々の生活支援を考えた施策へ ・発展的な取り組みを心掛けている ・地域資源の活用及び地域の生活課題(地域交流、防災、防犯、子ども体験活動等)をまち協でできることから行っている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協の地域助成金ありがたい。町内予算でまかなえない事業がたくさんできた ・まち協ができて3年なので、まだ成果と言えるものは出ていないのではないかなと思う。住民は昔の「社教」と同じものと思っている ・まち協の地域活動がまだ全体的に理解されていない部分があると感じる ・本年もまち協主催の「子どものお仕事発見隊」に来ていただいた。そんな子どもたちが介護の仕事についてくれるとうれしい ・子ども体験を通じて、子どもたちの将来を決める選択肢の参考になる ・子ども体験により、地域に興味を持つよう促している ・子ども体験の成果 ・子どもの職場体験が盛んに行われている[2 件] ・多くの子どもが参加しやすい行事の見直し(内容・時期) ・若者との意見交換の仕組みづくりが必要 ・原山公園・松倉シンボル公園の指定管理者制度を活用した地域の活性化につなげる取り組み(H31年度～見込み)

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人から高齢者まで笑顔であいさつできるまちにしたい ・高齢者に声掛けが出来る町 ・世代問わず仲良く過ごせる町 ・老人介護施設が数多くあるので、子どもたちと高齢者がふれ合える町 ・世代を越えた交流が少ないため、新年会・花見等交流の場を多く作る ・住居が離れているので、いわゆる向こう三軒両隣のようなつながりが持てる地域活動ができる町内に ・若い人との交流[2 件] ・世代間交流によって活気のある地域[3 件] ・地域の景観の良さを活かして、市民の憩いの場を整備していく ・「若い」も「若き」も相集いて、町内を維持していくという方向性を持っている。そのためには普段から各々が町内住民と交流を持っていることが必要と思う
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合いが盛んなまち[2 件] ・子どもを大切に皆で見守る ・高齢者を皆で介護する
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が暮らしやすいまち(交通、買い物) ・戸数の多さを生かし、お互い助け合い(子供見守り)、高齢化に対応できるまち ・高齢者・独居の方々も安心して暮らせる地域[2 件] ・民生委員の役割は何か。年に1回居住確認で回っているのみで、意味がない。世話人を作

	ること。孤独死をどう防ぐか。現状は何の対策もない
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心なまちづくり[2件] ・子育て世代が安心して住めるまち
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま自然を守り、住みやすいまちであり続けたい ・自然が多く、災害の少ないまちの良さを活かし、新たな世帯を多く招き入れ、活気のあるまちづくり ・自然を大事にしたまちづくり ・広い土地を生かした活性化を図るまち ・自然を維持しながら元気を推進[2件] ・自然を生かし、子どもからお年寄りまで生き生きと活力のあるまち(交流)[3件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが遊べる場を作る ・一人ひとりが生きがいを持てるまち[2件] ・子どもが多く、にぎやかなまち ・一人ひとりが役割を持ち、やりがいを持てる地域[2件] ・子どもから高齢者まで住みやすいまち[2件] ・地域資源(原山市民公園等)を活用し、市民参加型行事の展開 ・原山公園を利用した活性化事業。地域から全市的な催しものへ ・環境日本一を目指し、プラスチックごみをなくし、クリーンな都市を作り上げる ・持続可能な飛騨高山。まちの持続性を高める ・生涯学習の推進。人の育ちと活動を支援する(生活課題を解決していく取組み) ・市民の幸せ(強さ)づくり。市民の健康と就労を支援する(自立と自律の取組み) ・産業(地の利を生かす)活力とまちの魅力を高める。時代に即応した産業の振興と稼ぐ力を引き出す観光産業の推進(飛騨牛、漬物、高山ラーメン) ・農地を守るまちづくり ・農業の担い手が育つまちづくり ・防災と安全・安心につながる道路網(切れ目のない交通網)の早期整備を進める。新宮の場合、158号線の改良

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・従前の通りの行事を行うつもりですが、より細かな声掛け等を考えている ・施設を知っていただくための交流 ・高齢者施設との交流[2件] ・若い人と高齢者との交流[3件] ・地域の魅力を地域住民(子供を含む)に継承する取組み ・独居老人への声掛け ・子どもたちを見守る地域 ・高齢者を見守る地域 ・高齢者・子どもの見守り体制の充実。近隣同士の声掛け。町内での把握 ・介護施設の見学等を図り、地域で独居者・高齢者を大切に作る仕組みを作りたい
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地震への備え ・安心して住める地域にしていく ・地域の防災 ・災害時の連絡網は作られているが、災害時にどう活かされるかが心配なので、年に一度ぐらいは訓練実習をしたらいいと思う(過去に水害もあったため)

	<ul style="list-style-type: none"> ・防災協力体制の強化。地域は自助・共助 ・防災体制づくり ・防災の身近な取り組み
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世帯を地域活動に取り込む ・サークル活動の推進 ・担い手育成(自治のまちづくりの推進)
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に住める地域
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の保全と景観保全 ・自然の良さを活かし、どの世代も生き生き暮らせる地域
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物が豊かなので、青空市場等を地域で取り組んでみたい ・学童保育(現状は狭い) ・自給自足 ・地域資源の活用 ・女子力が強くなってきているため、活用する

2. 地域と市で取り組むこと

連携	<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人・高齢者世帯のバックアップのための地域の連携 ・原山の活用を市とともに取り組む ・行政のスリム化と地域でできることは地域で取り組み、行政と地域の協働の推進(指定管理者制度の活用)
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・地域の防災 ・防災協力。公助できるまでの体制づくり
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の活性化、補助、助成 ・町内会に入っていない人は必ず入ってもらうようにする
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康寿命の延伸
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通をもっと利用してもらいたい。市では、公共交通を増やしてもらいたい ・スーパー・コンビニがあると良い ・原山公園の活性化、指定管理[3件] ・原山の活性化のため全面整備し、冬はスキー場として活用 ・道路整備 ・地域産業の振興 ・学童保育の充実。建物拡充、食事提供、担い手の増員。まち協と連携した体制づくり ・地域で子どもを見守るために、学童保育の場所を広げ、地域でヘルパーを派遣し、若い夫婦を支援する ・旅行村線沿いの活性化。原山市民公園を中心とした施策の展開

3. 市が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活(少子化対策) ・お年寄り・子どもの見守り対策の構築
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い地域づくり ・川上川等の河川に関する防災[3件] ・河川の改修 ・防災体制(初動体制)づくり[2件] ・防災の高度化、減災対策

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・年をとっても歩いて買い物に行けるような近場のスーパー等がほしい ・公共交通機関の充実、のらマイカー等の本数をもっと増やしてほしい[2 件] ・農振の除外 ・公園の設置 ・原山の有効活用、活性化[2 件] ・道路整備[2 件] ・高山西インターからの158号線の充実を図る。歩道・サイクリング道路の充実 ・旅行村線の早期開通 ・就労支援 ・空家対策 ・高山西インターから高山市街地へのアクセスを十分整備して、高山インターから市街地への一極集中を防ぐ(北アルプスの景観を楽しみながら通行できるように) ・タクシー割引券等を高齢世帯に配布してほしい ・若い人が働ける環境整備 ・高校を出た後、地域に残れる職場づくり(若者を外へ出さない) ・Uターン就職の促進 ・市道八日町下林線の未整備区間(下之切町地内)650mについて、八次総に組み込んでいただき、早急に整備してほしい。未整備区間前後は2車線歩道付きに整備してあるが、未整備区間があるため、交通網としての効果が出ていない
-----	--

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・市道八日町下林線の下之切町地内の 650mの区間の道幅が狭いためすれ違いができない。他の区間は広いがその区間だけ農道のままになっている。下林町から大型車が入ってくるが、Uターンして戻ることがある。道幅が広くなれば、清見から市街地までの通勤道路としての利用も増えると思う。2車線が理想だが側溝を整備するだけでもすれ違いができるようになる。1級市道として重要な路線なので、整備していただけるよう八次総の見直しに入れてほしい ・原山公園のバーベキューコーナーは日影がなく、使い勝手が悪いため利用者が少ない。事務的に作ったという気がしてならない。市にお願いしても、一度作ったものだから直すことはできないと言われる。時代が変わればニーズも変わるので、市民目線で柔軟に対応してほしい ・八次総の見直しによって、支援金も含めてまち協の内容に変化が生じるのか。まち協というものがやっと分かってきて今からという時に見直しと言われても、まだ内容をすべて把握していない ・八次総には、原山市民公園の活用に関しては、利用しやすく特色ある公園づくりに取り組むと書いてあり、他にもいいことがたくさん書いてある。施策の実現には、協働のまちづくりによる地域力の向上が重要であり、中長期的な視野に立った地域づくり活動が求められていると書いてある。連携してまちづくりを行うことが記載されているので、地域でも頑張っていこうと原山公園の指定管理を受けた。総合計画の見直しにおいては、まち協が地域のメインとなって市全体に発信する活動も必要になってくることを非常に感じている。総合計画の見直しにあたり、まち協と意見交換することは非常に有意義であり、市の取り組みを尊重して地域でも応援するので、様々な意見を聞いてほしい ・高山の人口は9万人からだんだん減って、将来的に6万人弱になる予測であり、重要なのは持続可能性である。先輩方がこの地域を作り、今日まで脈々と守ってきた。特に新宮は子どもを地域で守るとしている。八次総の見直しでは、市民と市が一緒に考え、どういうまちにしていこうかということが一番のポイントである。元気なまち協が20揃えば高山が元気になると思う。市に思っていることを伝えることが重要であり、各地域のこともさることながら、高山全体のことも考えることでより良いまちになる

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 三枝 ） 11月20日（火） 19:00~20:30

参加人数13人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など）

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・インターチェンジが近く、高山の玄関口、他地域から来高する人が通る ・高山インターの出入口である ・中部縦貫自動車道、インターチェンジがあるお陰でアクセスが良い ・総合病院、久美愛病院がある ・大きな病院が近くにあるため、病気になった時に安心できる ・面積が狭い ・程よい地域である
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・6町内しかないため、まとまりやすい(他の地域では14とか24町内ある) ・町内、近隣との人間関係が比較的近い ・町内全体の顔が見える(町内に限る)、地域全体では難しい ・子どもの頃から住んでいる人は馴染みがある地域だが、他地域からの転入者が馴染むには時間がかかる ・老人が多く、色々教えてもらえる
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ほたるの里などの自然環境に恵まれている[3件] ・歴史文化も程々にある ・自然の多い地域だったが、高速道路による自然破壊もある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の対応がスムーズ ・アグリパーク(農業拠点)があり、JA本店も近く、農業経営者がいる ・事業所が多い

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の行事の出席者、参加者が限られる(役員中心) ・赤保木団地、特に市営住宅においては、そこで生まれ育った地域と異なり、団結力や協調性が薄く、町内運営が難しい ・借家、アパートの住人との関係が希薄 ・子ども会の存続が危うい ・老人が多いと若い人が出にくい ・古い家が多いため、しがらみも多い ・役の担い手がいない ・町内によって、戸数や子どもの数にバラツキがある
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に弱い、避難場所がない ・地形が山肌、土砂災害に弱い土地柄 ・洪水の恐れ ・災害時の避難所の数が少ない
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化 ・高齢者(独居、高齢者夫妻)、要介護者が多く、50~60代の人が少なく大変である ・高齢者が増加し、町内の活力が弱まる(独居老人の増加) ・後継者がいない ・人口が少ないため、役の担い手の育成が難しい

	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が都会に出て行くと戻ってこない ・老人が多い、独居老人が多く、孤独死も発生している
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の児童が少ない ・小学校が避難所になっていない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパーが遠い(買物難民が増えそう)[2件] ・大型商店がなく、車を運転できなくなると買物に困る ・公共交通機関が少ない ・交通網の便利さが、空き巣などの犯罪増加につながる ・障がい者や要支援者などが入居した際の地域の対応

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・人の身にそった活動ができるのが良い
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応が良かった(防災訓練の実施) ・今年度の台風災害時における、まちづくり協議会からの支援に感謝している ・防災訓練を校区全体でできているのが良い[2件] ・防災訓練など地域でまとまって行えること ・定期的な防災訓練、防災意識を高める活動 ・防災は自主的になった ・安全、安心のまちづくりに向け、地域全体で防災意識を高められる
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の精選(多いのでは?) ・社教の頃からの行事が続いている ・行事をこなすのではなく、自分達でやりたい事を進んで住民ができるが良い ・まちづくり協議会と連合町内会との協力体制がしっかりしている ・連合町内会がとても協力的で、本当に助けられている ・若い親を参加させるような行事を考えてもらう ・若い世代の参加が少なく、子ども会より「親子会」へシフトした方が、参加が見込める ・高齢者の増加による町内の力の低下
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の参加が少ない ・郷土芸能を受け継いでいる地域の若者を巻き込めるチャンスあり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・てくてくウォーク

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校下の行事には参加者が多い ・子どもが参加することで、親も参加する ・子どもが地域の一員と感じてくれるまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化[2件]、環境を大切にすまち
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心なまち ・高齢者が安心して暮らせるまち ・災害に強いまち
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の着工により、その出入口としての出店等に配慮し、活性化を推進してほしい ・交通の利便性を活かし、企業誘致する ・交通網を活かした企業誘致 ・学区の問題を解消し、子どもを多くしてもらいたい

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して生活できる(サポート、ケア) ・30～40代の若い人の意見を取り入れる(50～70代の年配者は、昔はこうだったと、本人が若い頃の話を押し付ける傾向がある) ・横のつながり
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に取り組む人材の育成 ・リーダーの育成、若い世代の育成 ・若者がリードして参加できる事業
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を活かしたコミュニティビジネスに取組みたい ・園児や児童を、高齢者が一緒に通学、帰宅できるシステム ・退職者が、地域の足のない高齢者や障がい者の買物を代行するシステム

2. 地域と市で取り組むこと

連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と提携を結ぶ(まち協会員として)
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の登校や園児の登園に対し、地域で見守る
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿のための食育の取組み(塩分や糖分を取り過ぎない、バランスの良い食生活、アルコールの節制など) ・生活習慣病を減らすための運動の取組み(ストレッチや散歩等の軽い運動を毎日続けるなど)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・三枝小学校の児童減少に伴い、冬頭町を三枝地区とできないか、ぜひ実現してほしい ・学区の見直し(市内の他地域とのバランスをとる) ・スーパーなどの設置 ・上切・中切地区の農地を宅地に替え、人口を増やして地域を活性化する(下切はアパートが増えているが、アパートの住民は町内会に入らない) ・JR上枝駅の活用(西高校の生徒、サイクリストの拠点、他地域からの誘客など)

3. 市が取り組むこと

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の地域割を変更する ・企業誘致を活発にする[2件] ・市内には大企業がないため、工業団地を設置して若い人が働けるようにする ・若者を増やすための大学の誘致
-----	--

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・外部の人の三枝地域に対する意見や視点、他の地区での将来像や取組みなどを参考としたいので、情報提供してもらいたい ・下切駐在所の署員が、「現在の場所(建物)には居られない方向、緑ヶ丘との合併も含めて検討中。市の土地にしか移動できない」と町内会長に意見を聞いてまわられた。詳細は不明だが、付近に市の土地はなく、駐在所が地域から無くなってしまふことが心配。色々な人が地域に入ってきており、現在の場所の近くに残してほしい
--

地域のまちづくりに関する意見

地域名 (大八) 11月27日(火) 19:00 ~ 20:40

参加人数 13人

①お住まいの地域の特徴 (地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など)

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・生活利便が良い(スーパー・ドラッグストア・飲食店等)[4件] ・高山に1つしかないお店がある ・交通手段・商店が多い[2件] ・保育園から高校まで存在している[2件]
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・しおやもも ・恵まれた農地
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・歴史(車田、七夕岩) ・旧大八地区に限れば、伝統的な行事が継続されており、伝承されている
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅増

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・資源はあるが、実質的な活動拠点(コミュニティ施設)がない ・市街地と農村部が混交し、意思の統一が難しい ・新興団地と旧町内との壁ができています ・人と人とのつながりの距離が遠い ・横のつながり
地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの楽しめる施設や児童センターが地区内がない[3件] ・広い地域である(天堤から上野まで約4km) ・広い範囲に家が点在している地域 ・不便な地もある ・山や坂が多く、住宅地としては不便なのかと思う。平地に住宅が増えればと思う
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化 ・高齢化[2件] ・独居老人世帯の増加
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備が遅れている ・急激な大型店の増加に道路整備等が追いついていない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ処理場等の安全・安心に関しても他町内との話し合いがなされていない。町内会長1人だけでは十分な思いが伝わらない

②まち協などの地域活動の成果等 (地域での取り組みの成果、課題、改善点など)

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども(乳幼児・小学生)対象の参加型の講座が増えた ・大八こどもランチ ・乳幼児教室 ・広報活動や講座の充実など市のなかでも誇ることができる ・活動拠点が必要[2件]
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブへの支援(体験型) ・まち協と町連(回覧を回す) ・まち協の活動・信念・趣旨が町内に伝わっていない[2件]

	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協の役員が町内の会合に出向して計画を示したり、町内の意見を吸い上げる ・横のつながりが薄い。活動がない ・校区をまたいでいる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・成果が一般の住民に伝わってこない。会費や負担金のみ支払われている感じである ・町内会長が単年交代で、余裕がない。長期的な取り組みが必要 ・地域が広い。情報伝達が遅い ・人を介しての情報伝達 ・情報伝達 ・関心を引くことが大切 ・ゴミ問題への取り組み ・ゴミ処理焼却の人体への影響等をまちづくり協議会でも取り上げてほしい(安全安心への取り組み) ・まち協の活動内容を知らない

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	・人と人がつながる安全・安心なまち
伝統文化	・三福寺城跡、三福寺廃寺跡の活用
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全 ・山や川で遊べる、自然と距離が近いまち。地域の弱みとして、子どもの遊べる施設が少ないという意見あったが、施設への投資も必要かもしれないが、山や川が近いのに遊ぶことができる環境ではない。自然とふれあい、楽しめるまちになると良いと思う
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心なまち ・安心して暮らせる環境
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・住居・農村それぞれの地域に合ったまちづくり ・住宅の近くにゴミ焼却場ができるのであれば、地域の将来は明るくない

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・講座や行事等で集い、顔を合わせることが大切。つながりの機会 ・近隣同士のコミュニケーション ・誰とでも触れ合えるよう、交流を深めていく
連携	・横のつながりを地味に取り組む
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な活動 ・組織づくり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク等(ボランティア)の導入 ・地域人材の活用。人的資源の活用(いろいろな特技や時間がある人)

2. 地域と市で取り組むこと

連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市がまち協と町内会の関わりを明確に打ち出してほしい。4月以来、まち協と町連の壁を取ることに尽力し、ある程度いい関係を築くことができたが、行政のバックアップがないと前へ進めない ・地域の要望をまとめ、市に伝えていく。市は地域に意見を求めている。今回のような意見交換会がより大きな規模・参加人数で開催されると良いと思う
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所(学校から遠い所の人への対応) ・防災体制づくり

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・組織づくり ・拠点
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策[2件] ・公園 ・若い人が帰ってくる ・働く場の確保 ・給料が低い

3. 市が取り組むこと

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への加入の働きかけ ・地域の意見を聞くことは重要で、その機会を作るのならば、出てきた意見をくみ取って予算化する等、市に度量がなければ言いっぱなしになってしまう。地域の前向きな芽を摘み取ることにならないように ・拠点整備に向けてのハード面を ・活動拠点
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の働く場 ・若い世代が帰ってこられて住みやすいように雇用の増加、家賃の低額化(高山は田舎なのに家賃が高いと思う。雇用も少なく、住みにくいと思う) ・現在、大八地区の会合は東山中学校体育館を利用しているが、これとは別に文化会館の建設が必要

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ焼却場から出る排煙は健康への影響が大きく、喘息となって死亡すると市に賠償責任が問われる場合がある。安全・安心を最優先で考えてほしい ・意見交換会の開催については、町内会にもしっかりと周知してほしい ・意見交換会を開催する2、3か月前に教えてもらえば、事前に町内で話し合うことで広く意見を吸い上げることができる ・意見交換会は、実施したという実績づくりではなく、出た意見は責任を持って反映してほしい ・意見交換会は、秋の行事の前に課題を伝えておいて、行事の直後に開催すれば、多くの人の意見が出やすい。また、寒くなると集まりにくくなる。開催時期を考えてほしい ・災害が発生した際、体が不自由な人の福祉避難所への避難方法について市に問い合わせたところ、まず一般の避難所に行って、そこで確認しないと福祉避難所へ行けないと言われた。福祉避難所の利用のあり方を考えてほしい
--

地域のまちづくりに関する意見

地域名 (岩滝)

11月14日(水) 19:00~ 20:35

参加人数15人

①お住まいの地域の特徴(地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など)

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・高山の中心部まで意外と近い
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちを地域で育てる(知らない人がいない) ・人口が少ないため、まとまりやすい ・地域の人の顔が分かるため、長い間顔を見ないと気になる ・顔をだいたい覚えてみえて、会うと声をかけてくれる ・人口が少なくても、人の顔が見え、つきあいが良い ・地域全員の顔が分かり、高齢者の声かけや見守りができ、安心なまちづくりができる ・地域に住んでいる人が少なく、一つの家族のような地域である ・幼少の頃から、どこの子どもか知ってもらえている。声をかけてもらうことが安全、安心につながる。「大きくなったね」「元気そうだね」「風邪ひくなよ」などの声かけがうれしい。自分自身を見てくれている喜びが、心身の成長に大きくつながっている ・近所の家の様子がだいたい分かり、入院した、怪我をしたこと等も分かる ・地域全体で子どもを見守り、育てている ・子育てが安心 ・子どもを皆で育ててもらっている ・地域の人々の結束力が強く、協力しあえる ・仲の良い人間関係を感じる ・町内ごとに助け合える関係である ・協調性が強い
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・どの行事にも協力し合える ・人口が減っていくなかでも、祭礼では子どもから大人まで役割があり、市街地に転居した方も参加してくれる
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい棚田や星空など日本の原風景がある ・外灯が少ないため星空がきれい ・自然が豊かである、動物と会える ・自然が良く、人の入っていない山奥の方は特に良い ・ささゆり、クマガイソウがある ・自然が多く、子どもを育てるには良い環境だと思う
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統が残っている ・名所、史跡がある ・伝統文化が多い(祭、棚田など) ・棚田など、観光地としても利用できるものがあるので、良いと思う ・祭や歴史が引き継がれている(三神社[2件]、おどり、瀧覚坊遺跡など)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・高冷地を活かした農業(高冷地野菜等) ・他地域と比較して、林業に対して積極的である ・農地を確保できる ・スキー場、青少年の家がある

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・役の成り手がいない ・まちづくり協議会、町内会等の役をやりたがらない ・人づきあいが少なくなっている(特に町内相互) ・忙しい、人手がない、若者が居ないなどにより、行事もたいへん少なくなってしまった
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯止めがきかない人口減少、高齢化 ・何か行事を計画しても、なかなか人を集めることができない ・会議等の出席者も少ない ・若い人達が少ない ・子どもが少なく、高齢者が多い ・少子高齢化が非常に厳しい ・人口の減少や高齢化により、働く者が少ない ・若い人達が生活するには不便かもしれない(店が遠いなど) ・人(子ども)が少ないため、役がいくつもあたり、負担が重い ・子どもが少なくなってきた、将来が心配
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業(働く場)が少ない ・農業、林業以外の働く場がない ・高山市内でも職種が少ない(大卒者が就職したがるような職場) ・せめて高山市内にもっと若い人に好かれる仕事があっても良い ・獣害が増えている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・20～40代の独身男性が多い(10人位) ・独身者が多い、お嫁さんが来ない、子どもも増えない ・買い物や銀行などが不便 ・小売店、JA、金融機関などがなく、なんとなく不便で、人口減につながるのでは ・金融機関やコンビニなど、無いものが多い ・バスなど交通機関があまりなく不便 ・独居老人には、坂や足場が悪いなど危険な場合がある

②まち協などの地域活動の成果等(地域での取り組みの成果、課題、改善点など)

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・人を集める活動が、今後続けていけるのか ・花壇づくりがあると近所の人と顔を合わせる。無いと顔を合わせることが少ない ・行事への参加者が少ない ・例年同じ行事でマンネリ化している ・地域の人とのふれあいが多くなった
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校ならではの取り組み ・子どものことを大切にもらえる ・小学校の児童にも協力してもらい行事を行っており、子どもから老人まで楽しめる活動がある ・小学校と地域の繋がりが強い ・子どもの関わる行事が多い、子どものことを考えた活動 ・地域が学校運営に大変協力的で、子どものための動きはありがたい ・地域としても学校の存在は大変ありがたい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト、音楽会など岩滝の良さを外部の人に伝わるようもっとPRできないか ・フォトコンテストは、岩滝を知ってもらえるチャンスになっている ・高齢者の取り組み

	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備品が各町内に整備された(発電機など)[2件] ・外灯が整備され明るくなった ・行事に対し、市の補助が出るようになった ・社教からまちづくり協議会になり、予算がつきありがたい、どの行事も参加者が増えた(昔は寄附を集めていた) ・軽スポーツにより交流を深めた ・婚活 ・星の観察 ・棚田でとれたお米で花餅や昼食用もちをつくり、市役所でお米のPRやもちの配付
--	---

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりを大切にしまち ・住民全員が何でも話し合えるまち ・見守り、ふれあい ・地域の方とのふれあいを大切に、伝統をそのまま残せるまち ・人とのつながり、文化を大切に、住みたくなるまちづくり(今居る人、外からの移住者) ・人の温かさや自然を大切にしまち
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・おもいやりを大切にしまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・祭などの伝統文化を大事にするまち ・自然と伝統文化を守る
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が頑張るまち ・少子高齢化が進むなか、人生100年の時代になるため、65～75歳位の方々が元気に、活動の中心になっていくような地域になれば、地域が続いていくように思う
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪のないまち ・災害のないまち
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を守ることが、地域の存続や活性化に一番重要 ・小学校を残す
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたくなるまち ・交通路線の充実 ・空家の活用、PR ・これ以上、人口や世帯数を減少させないまち ・子ども達が、岩滝に残ってもいいと思うようなまち ・環境や自然を活かした、他ではまねのできない産業があるまち(お金のとれる、仕事がある、若者が残り人口が増える、将来がある) ・岩滝ならではの産業、仕事ができたらいい ・自然の良さを活かすとともに空家の活用などにより、移住者が増えると良い

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の和(人と人の和) ・子どもや高齢者に進んで話しかける ・お互いに住みやすい、助け合える、喜びあえるまち ・高齢化がすすみ、今まで以上に声かけが必要となる ・年に一度は、3町内が集まり、行事を通じて顔合わせができるとうい
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事は、横の連絡を取り合うようにすると参加者が多くなる

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を含む、地域住民の把握 ・まちづくり協議会の積極的な活動と、地域の協力
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を守る ・小学校の継続に努力する(支援等) ・伝統芸能を小学生から体験させる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他にまねのできない産業の創出、岩滝シルバー人材センターの設置 ・無理をせずに、現状を維持する ・空家の活用 ・岩滝の良さをPR ・ホームページやメディアを使った情報発信 ・祭文化を継承していくための記録DVDの制作、伝承

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・日本中から様々な学生などがみえているため、青少年交流の家と地元小学生等との交流をし、岩滝の良さを伝えていけるとよい
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の見守り ・高齢者(一人住まい)対策 ・棚田の復元、拡大(昔はもっとすごかった)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を残す ・心の疲れた子どもを岩滝小で受け入れる ・空家の活用 ・この地域の産業を考える。専門家等が見た岩滝から、考えられる産業はあるか、地場産業が盛んなら、人が増えるかもしれない ・高冷地を活かした農業、新規参入者への助成拡大 ・移動販売車などの買い物支援

3. 市が取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に孤立してしまう土地のため、災害対策が重要 ・防災施設の整備 ・安全対策、除雪 ・災害時、停電時の対応(電気、水道、除雪、auはつながるが他のキャリアは圏外となり、情報が分からない)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・岩滝のPR ・Uターン、Iターン者への支援 ・農業への支援 ・獣害対策 ・道路や公共施設などハード面の整備 ・空家活用、Uターン者や若者に対する住みよい生活の支援 ・バス路線、便数の充実(免許返納できない) ・交通手段の見直し ・大企業を誘致できる団地を作る ・少子高齢化や人口減少、若者の減少は、仕方のないこととして済ましたり、派生した課題へ対応するのではなく、若者をUターンさせるとか、お嫁さんを連れてくるなど直接解決する

	<p>方策を実施してもらいたい</p> <p>・交通や店舗などの不便さを解消し、便利で子育てしやすい岩滝にってもらいたい</p>
--	--

その他意見、提案

- ・小さい地域が困っているのだから、総合計画においては、「岩滝」という地名を出して、地域のまちづくりにも触れてもらいたい
- ・先日の豪雨時には地域に対し、初めて避難準備情報が発令され、小学校の避難所開設を行った。昔は、地域在住の職員が避難所となる体育館の鍵を預かっていたが、今は、地域外の職員が市役所まで鍵を取りに行っているため、迅速な対応ができない。近くに住む職員を担当させたり、鍵をあらかじめ預けておくことができないか。教室棟の3階倉庫に毛布などの備蓄品を保管しているが、機械警備がかかっており、非常時に持ち出せない。体育館内又は備蓄倉庫等を確保し、保管するよう見直すべき
- ・まちづくり協議会が発足して4年目であるが、今後どのようになるのか不安がある
(先の市長選の対立候補が見直しを掲げており、市長が変わったら、組織が無くなり、元に戻ったり、助成がなくなるなど)

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 花里 ） 11月 5日（月） 19:00 ~ 20:30 参加人数 15人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など）

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を取り巻く環境(商業施設[6件]、自然[3件]、病院[3件]、医療施設[1件]、交通インフラ[1件]など)に恵まれている ・学校などが歩いて行ける場所にある ・観光に便利(親戚、友人知人を招待しやすい) ・静かで、近くコンビニもでき利便性が高い(千島町) ・高山市中心部に比較的近い場所に位置している ・高山駅に近い[2件] ・各種施設に恵まれている[2件]
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から住んでいる人が多く、人のつながりが深い[2件] ・町民の団結力が強く白山神社の祭礼に協力的である(千島町) ・子どもを応援する気風がある ・同居世帯が多い(子どもが素直) ・朝の登校時の挨拶
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人がまち協の役員をしている[2件] ・町内会の行事への参加者が多い
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな地域で里山が広がっている[4件]
歴史文化資源	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある地域で神社、仏閣等がある ・歴史文化に培われた風土
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的人口減少や高齢化が緩やか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高山は人口が少ないので、個人の意見が反映されやすい(市政や地域づくりに参加しがいがある。愛着がわきやすい)

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会(町内会)加入率が低い ・町内会加入者が少ない。町内会に魅力がない ・新しい人が町内会に入ってくれない ・農地が多い地域だが、宅地化される土地が多いためアパート等が多くなり、新しく住み始める人が多くなっている。そのため町内会に未加入の人が多くなっている ・地域活動の担い手不足 ・祭りなどの人手不足(高齢化) ・地域づくりへの意識に温度差がある ・高齢者との町内会各班の対応の仕方
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的に災害が多い(山・苔川[4件]) ・苔川の改修を早期に実施する(古寺橋下流は応急手当のみ)
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の空洞化[2件] ・高齢化が進んでいる ・福祉・農業の担い手不足 ・宅地化され人口の増加が見込めない。ただしマンションなどができれば別だが。入居者が町内会に参加するかは疑問

その他	・進学
-----	-----

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守り活動は定着しつつある ・地域の見守り活動の賛同者が少ない。特に下校時の見守りが少ない。千島の役員は月2回実施している ・子どもたちの登校の見守り、下校の見守りができていない ・災害時の各町内の班単位などと隣近所での声の掛け合い。独居の高齢者は、なかなか避難を受け入れてもらえない
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・単位町内会でできないことについて、花里地区全体で楽しめるよう考えることが少しずつできるようになっている ・花里のまち協には地域活動部があり、それがきっかけで地域に参加するようになった。知っている人が増え、悩みを解決する手立てを一緒に考えてもらえ、様々な組織の仕組みや人間関係を知る事ができて、個々の暮らしに愛着がどんどんわいてきている。数値や変化では表しにくいかもしれないが、アナログな活動を続けて行ってほしい ・まち協は、事業をたくさん実施する団体から、実際に役立つことをする団体に変わっていかなければならない ・若い人がまち協の役員を歴任
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携。まち協がイニシアチブをとっている ・小学校と協働で防災の取り組みを行っている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事業への参加率は高いのではないか ・ハロウィンパーティ、グラウンドゴルフ、ボーリング大会、豆まき、祭りの参加、キャンプ、班単位の新年会

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・住む人(住まう人)の顔が見えるまち ・「人の顔が分かる地域づくり」これに尽きると思う。地域の方が互いの顔が分かり、自然と人同士、家族同士、班同士、町内同士での交流、つながりができる地域が大切だと思う。様々な事業を通してつながりが広がっていくとよいと思う ・親睦の強いまちにしたい(子ども会のあり方、ジュニアリーダーの育成、悩み事を聞いてくれる、対応できる人を作る) ・高齢化していく中で、町内会に入会していない近所の方々を知り、災害に対して、まずは隣近所の声かけをして行けたら、被害も最小限に抑えられるのではないのでしょうか。子どもたちへ声かけし、近所のおじちゃん、おばちゃんを知ってもらう
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が助け合い地域を誇れること ・今後高齢者は増加の一途をたどるばかり。65歳以上の高齢者について見守り体制を充実すべき。見守る者一人の負担が多い(民生委員、見守り指導員) ・災害時に助け合える地域[2件]
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・地域(自然環境、歴史文化の継承)に誇りを持てるまち ・都会に行った子どもたちが戻ってきたくなるまち(子ども体験教室やどろんどろんピックに参加した親がわが子に体験させたいと思うように)
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りなど伝統を受け継いでいける地域 ・古き良き日本を体現できるまち。それを支える最新の情報、教育、技術などのインフラが行き届いているまち

福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても安心して暮らせるまち ・福祉
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な地域[2件] ・防災
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を自分たちで話し合っ解決に向かっていける地域 ・商業施設、公共施設、医療施設などが充実したまち ・町内会館を開放 ・子ども、老人の交流会

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が交流できる場づくり ・長寿会の麻雀大会 ・まち協と市で楽しいイベントができればいいと思う ・参加しやすい事業
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 団体などとの連携 ・学校との話し合い ・他団体との連携により、活動、つながりの輪を広げていく
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からない災害について、地域防災体制の強化が大切なため、町内会と連携した仕組みづくりが必要だと思う ・安全・安心なまちにするためには、一カ所でも完全な安全対策が必要(例: 松倉第二踏切西側の学童用歩道は、待ち場所がポールで、実際には安全の確保がなされていない。ポールが飛んでいても対応が遅い) ・防災の仕組みづくり
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域づくりへの参加意識を高める ・まちづくり協議会がまだまだ地域に知れ渡っていない部分がある。もっと分かりやすく、まち協に興味を持ってもらえる場があればいい ・まち協で課題を吸い上げ解決する
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会館にて健康体操(グループ別に行っている)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市は「保護者」で、「市民(まち協、各種市民団体)」は分別のある「子ども」のような関係が成立したら良いと思う。やる気のある「子ども」に「保護者」は見守りながらどんどん任せると良いように思う。他にもっとすべきことがあると、関心を持って他のことをしたがつている「子ども」に、「保護者」のさせたいことを優先してさせるより効果があると思う。「保護者」には、「両方かなえることができるかも? 応援するからやっごらん」と言ってほしい ・子育てしやすい地域にするためにどうしたらよいか? ・地域全世帯へのアンケート調査 ・民生委員の増員

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・高山駅西の白山口とトイレとの通路の屋根の整備はなぜ遅かったのか ・駅西駐車場は無料で出入りできる。駅のロータリーの街路灯と樹木のふれあい広場に、プランターしかなくチェーンがしていない場所がある。維持課には伝えている

地域のまちづくりに関する意見

地域名（丹生川） 11月26日（月） 19:00 ～ 21:00 参加人数 17人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い ・観光資源が多い ・スキー場がある ・飛行場がある ・乗鞍岳がある ・水や空気がきれい ・のどかである
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いが良い ・人のつながりが深い ・安心できるまち ・人が少ない分まとまりがある（行事もまとまる） ・年寄りが元気 ・人がやさしい ・子どもが素直 ・同居世帯が多い
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育への協力 ・祭が多い（夏祭り、すくな祭、ウインターカーニバル等）
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場としての昔の自然が残っている（北方～法力の昔ながらの原風景） ・高冷地野菜や水、空気がおいしい
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財が多い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な観光でなく、体験の場としての活用が可能ではないか

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内・地域会費の負担が大きい ・ゴミ収集場所まで遠い ・若者が減り町内に残っている人の負担が増している（水路清掃など） ・よそ者に対して厳しい ・高齢化による耕作放棄地の増加 ・独居の増加
人口減少（少子高齢化）	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により個人負担が大きくなる ・農業以外の働き場がない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通手段が少ない（交通の便が良くない） ・観光のコアになる場所がない ・冬が寒く暖房費用等の経費がかさむ ・給料が安いので、若者の田舎離れがすすむ ・耕作放棄地の増加（農道、用水路の管理不足） ・道路が悪い ・買物するところがない ・空家が多い

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な催しでがんばっている ・参加者が少ない ・イベントではなく、生活にかかわる取り組みが必要 ・役職の兼務が多い ・文化祭に子どもの作品展示があり良かった
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな役が多すぎる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が減っている ・立ち位置がわからない ・成果が分からない(見えない) ・予算や決算などの収支が見えて分かりやすくなっている ・多くの行事に参加しなければならなくなった

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・人のつながりを大切にする所 ・他の地域から自然に人が集まってくる場所 ・人の姿がみえる地域
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が共同(協働)で生活できるまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統を守っていける地域にしたい
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が外に出やすいまち
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源をもっと宣伝し、地域を活性化させたい ・農業を活かし地域が連携し合うまち ・田舎の良さを活かし時間がゆっくり流れるまち ・地域の課題を解決するまち(放棄耕作地を管理する農業法人など) ・元気のあるまち ・人々が歩いて生活できるような環境のまち

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・連帯感を持って人口減を防ぐ ・地域の人たちの助け合い ・地域に暮らす人が全て参加する活動を推進する
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が出て行かないよう、地域のよさを伝えていく ・観光資源をもっと宣伝し、地域を活性化させたい ・今までどおり共同して地域行事を行う
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統を守っていける地域にしたい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若者がUターンしたくなる環境づくり ・景観を活かした花いっぱいのもちづくり

2. 地域と市で取り組むこと

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな年代の人が参加できる行事を増やす ・都市部の高齢者を呼び込む
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・連帯感を持って人口減少を防ぐ
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の後継者づくり(スポーツ・仕事など)

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域から転入しやすい環境 ・移住者が住みやすい場所(意識の共有) ・耕作放棄地の活用 ・企業誘致 ・環境の整備 ・公共交通手段の充実 ・乗鞍へのマイカー規制をゆるくする ・乗鞍や五色ヶ原のPR強化(入山料が高い)
-----	--

3. 市が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が何となく集まって来て楽しめる場所を作って欲しい(自発的な共同生活の場) ・老人と子どもがふれ合える場所があると良い(支所の有効活用・オープンカフェ)
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度の充実
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協になんでも押し付けない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源をもっと宣伝し、人口減を少なくして欲しい ・定住しやすい環境づくり(住宅、交通等) ・若者が帰ってきたくなる仕事の紹介や情報提供

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 清見 ）

11月16日（金） 19:00~20:40

参加人数19人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が通っている ・中部縦貫自動車道高山西、清見インターがある(観光・物流、交通の利便性向上) ・清見ICがあり、車での移動は便利 ・せせらぎ街道(八幡～高山)の中間地にあり、通行客に対しての事業が考えられる ・せせらぎ街道(観光道路)、高速道路など外から人を呼べる材料がある ・卯の花街道、やまびこ街道がある ・町内に平地が多い ・初夏から秋の紅葉までは気候が良い
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の助け合いが強いところが良い ・地域の人同士のつながりが強い ・地域のまとまり ・地域の行事や活動、イベントなどには、積極的に参加している ・助け合いがある、助け合いの風土 ・どこに誰が住んでいるか、どのような人か知っている ・お互い協力し合い、地域の作業活動をしている ・人のあたたかさ ・運動会や文化祭など幅広い年齢層での交流の場がある
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで住みやすい ・自然がきれいで、豊かで、水もきれい ・せせらぎ街道など観光資源、自然歩道が豊富 ・四季折々の風景、小鳥湿原など外から人を呼べる材料がある ・せせらぎ街道の紅葉など自然が多い
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、特産品、歴史文化による地域の取り組み ・神社など伝統がすばらしい ・神社やお寺を守り、行事を行っている ・遺跡が多い、金・化石を取れるところがある
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ・戸数が少ないため、まとまりが良い ・世帯数が少ないため、全ての人が町内のことに協力してくれる ・人口が少なく、全員協力的
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業(トマト、ホウレンソウ、露地野菜)、畜産業(飛騨牛)[3件] ・田畑を荒らさないよう努力し合っている ・観光資源が豊富(遺跡、キャンプ場、プラネタリウム、山と川) ・日本でも有名なプラネタリウムがある ・飛騨牛の発祥地 ・クラフト産業が盛んである ・ウッドフォーラムがある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・平和である

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・祭など地域行事の継続問題(引退した者がいつまでも参加しなければならない) ・地域活動に消極的な人が多い、人は良いが積極性がない ・役職が多く、重複してしまう
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した際、各地域が分断されてしまう
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少(若年層)、高齢化で活気がない ・人口減少がはなはだしく、子どもが少ない、高齢化の進展が早い ・地域の担い手が居ない[2件] ・高齢化がすすんで、地域の役ができなくなってきた。地域内の草刈ができなくなってきた ・役職がたくさんあり、人口減少と高齢化に伴い難しくなってきた ・子どもが少ない、出生数の減少 ・高齢化しており、今後も人口・世帯数が減っていくと思われる ・若手の減少、高齢者の家庭が多くなってきている ・若者が居ない、少子高齢化、人口減少、過疎化、役員の重複 ・人口減少(若者世代)のため、活気が出ない ・高齢化と人口減少が今後15年で更に進み、地域力の低下が見込まれる ・外から入ってくる人材(よそ者)を受入れる体制づくり ・少子高齢化に伴い、地域によっては過疎化が進み、活動に限りが出ている地区がある(伝統行事が行えなくなるのではないか)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・雪が多くて寒い ・面積が広く、通学や通勤に時間がかかる ・就職先がないため[3件]、若い世代が戻れない、活気がない ・域内が広く、移動距離が長い ・高齢者が多いが福祉が弱い ・産業による地域の取り組み ・観光資源が活かされてない(観光資源の連携ができないか) ・地域に特徴がない ・買い物弱者をどうするか ・旧高山市内から離れており、病院やスーパーなど不便さがある ・冬はたいへん寒く、雪が多い ・清見の中心地、旧高山市まで遠く、学校や保育園、医療、買物などに不便 ・車がなくても生活できる交通体系を考えなければならない、買い物弱者対策を早急に

②まち協などの地域活動の成果等(地域での取り組みの成果、課題、改善点など)

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に対しては、良い成果が出ていると思う ・イベント等にぎわいづくりがしっかり出来ている
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道整備、草刈など環境整備は充実している。ただし、地域町内会の規模が大きく違うため、小さな町内会は負担が大きすぎる(他の地域に行く手間がない) ・自治会を通じた活動が盛ん ・花植えや防災訓練など地域や町内会の行事に、皆が積極的に参加してもらえる[2件] ・花植えの日は、地域の道路沿いの環境整備の行事と合わせて、全員が参加している(女性は花植えと空缶拾い、男性は、土砂あげや草刈等) ・スポーツ、文化活動の委員会をまちづくり協議会事務局が支援でき、毎年しっかりと行えている。活動に市からの支援金が活用できる ・地区活動への参加は協力的だが、遠方だと参加しにくく、送迎の確保策も必要

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の世代交代(文化作品展の準備での出来事) ・まちづくり協議会の協力体制がしっかりしている ・人口が減っていることで、幅広い年齢層の方が行事に参加される ・ゆりかごから墓場までの活動(幼児、小中学校、一般、女性、長寿者など)
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・環境改善事業等の実施により、安全・安心で住みやすい地域づくりを推進 ・婚活イベントにより、若い世代の交流の機会を増加 ・小中学校の合同行事(地域のふれあい) ・文化祭(文化芸能活動サークルの発表の場、中学校学習発表の場とコラボした合同文化祭の開催) ・運動会(小学校、中学校の合同開催) ・小中学校が文部科学省より、人権の研究校に指定されたため、小中学校と地域とが一体となって進めている ・各自治会の連絡網がしっかりしている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・役が多すぎる ・行政の仕事の丸投げでは ・町内の要望事項の解消につながっている ・花壇づくりを休んでいる地区もある

③お住まいの地域の将来像(どのような地域(まち)にしたいですか)

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行事にお年寄りも巻き込んで、お年寄りもイキイキするまち ・人権のまち清見として、障がい者にも配慮したまちづくり ・人のつながりを大切にする助け合いのまち
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、人口が減少するなか、少ないなりに協力して、住んでいる人に色々な負担をかけない地域でありたい
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいを持てるまち
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して暮らせるまち ・高齢者の入所施設が必要
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち[2件] ・独居老人を一人にしない ・安全で、安心して暮らせるまちづくり[3件] ・停電なども発生し、災害に弱いため、対策が必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が多いまち ・若者に残ってもらえる魅力あるまちづくり(若者の流出人口の抑制) ・若者が働ける場所がある ・広い面積を活かした、商業施設+学校+福祉医療施設が一体となった総合的なまち(金沢の方にあるような、一つの場所にまとめたまち) ・ウォーキングイベントなど住んで楽しいまち ・健康的な特産品(減塩ケチャップ、ドレッシング、ソース) ・人口や世帯数が増えるようになれば、活気が出ると思う ・運転免許を返納しても移動手段があるまち ・既存の施設を活かし、活気を出していく ・プラネタリウム、里人学校などを含めた地域の活性化。全国から大学生が入ってきている ・居住地域と就業地域の改革を考えてはどうか ・人の居住地は三日町周辺に集めて、周辺地域では、大規模農業法人を作り働く場とすれば良いのではないか

	・旧高山市内への移動手段の充実
--	-----------------

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	・老人会で月2回体操を実施
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の実効性確保 ・高齢者の見守り ・隣同士で声を掛け合う ・安全・安心で住みやすい地域にするため、地域防災体制の組織づくり、高齢者や独居老人の見守り等の実施 ・安全・安心、健康的なまちづくり ・地域は地域で守りあう、特に防災活動は地域で話し合い、地域独自の体制を強化させる ・独居の家庭を訪問するなど、安全の確保
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが地域活動に参加するまちづくり(ボランティア、イベントなど地域活動の充実) ・地域で若者に活躍の場を与える。若者に地域の良さを教え伝える ・地域間の人材の交流(手助けする) ・歴史と文化を残す ・伝統文化や祭、行事を子どもも巻き込んで、将来につないでいく
健康づくり	・健康づくり(地区で行っているサロンを続ける)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の高齢者育成 ・免許返納後の移動手段の確保 ・今後、独居老人の家庭が増えると思われるため、地域で協力していかなければと思う ・その地域に適した産業と事業家の更なる育成 ・動植物を大切に自然と共生したまちづくり ・生きがいづくり(自分が働いた代償を認めてもらえる、野菜の販売を続ける)

2. 地域と市で取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の強化 ・高齢者が安全、安心に暮らせるまちづくり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段など民間を巻き込んでの対策ができるのでは。駿河屋などスーパーでは、移動販売を行っている ・交通手段の確保、生活(買物)ができる暮らしの継続 ・プラネタリウム、里人学校など、今ある施設をもっと活用して活性化できればよい ・産業の誘致 ・今後10年を見据えた計画を地域で検討 ・乳幼児の育児がしやすい環境づくり

3. 市が取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災体制、基盤の強化 ・自然災害対策 ・防災 ・昼と夜の人口差が大きく、昼間は年寄りしか居ない。昼間に災害が起こり、帰宅困難となったとき、地区で年寄りだけになった時が心配。タクシーのように利用できる(電話で呼べる)交通体系を整備してほしい
---------	---

交通・買物支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により買物などが不便になるため、移動販売車を走らせてもらいたい ・目で見て商品を選べる移動販売車のサービス、電話で注文して品物を届けてもらうなど、福祉政策として市が支援してほしい[2 件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の取り組みに対する支援 ・清見町への移住制度を作ってもらいたい ・産業の誘致 ・交通インフラの整備 ・特例地域支援事業 ・働き場所の確保・充実、給与所得の増加 ・若者の働ける場づくり、人口減少を止める ・環境保全活動(山はゴミ捨て場、プラスチックの使用削減を進める) ・環境保全 ・プラネタリウムを活用しての活性化

その他意見、提案

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・行政から地域に依頼する役を減らす方法を考えてほしい。現在、神社やお寺の役を合わせて 50 数件あり、有りすぎである。一人で3~4 件を兼務せねばならず、会議への出席等も負担であり、軽減を考えてほしい ・市と県など横のつながりをもってもらい、交通安全など活動目的が重なる役は集約してもらいたい ・難しい問題であるが、町内会の再編成を市主導で進めてもらいたい
(ある地区では、ほとんど会議に出られない状況にある) |
|---|

地域のまちづくりに関する意見

地域名 (荘川)

11月12日(月) 19:00 ~ 20:30

参加人数 18人

①お住まいの地域の特徴(地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など) 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・交通面が良いこと[6件] ・東海北陸自動車道(特に、荘川IC以南)の4車線化[3件] ・温泉がある[7件] ・ゴルフ場がある[3件] ・高速のインターチェンジがある ・大きな農地がある ・スキー場がある ・中京圏に一番近い
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校とのつながりが強い[2件] ・住民が少ないため、意見を通しやすく、団結しやすい[2件] ・人柄が良い ・皆の顔が見える、犯罪が少ない安全なまち[2件] ・地域の方々のコミュニティ(結の心) ・人の心が温かいこと ・絆 ・地域の一体感
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・共同作業に多くの人に参加してくれる ・秋葉さまの清掃活動
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな山(緑)・川[5件] ・自然が豊富[7件] ・荘川桜が有名である[4件] ・高冷地野菜 ・白山ユネスコエコパーク ・鮎 ・最上流部で川との高低差があり、水害の危険が少ない ・紅葉が美しい[2件] ・三本松 ・雪の多さ ・夏は涼しいこと[2件] ・星空 ・自然環境 ・自然の中で子どもたちが育っていることは外に向けて発信したい ・昼夜の温度差が大きい ・自然(惣則の治郎兵衛のイチイ、七福とち)
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと祭り(30頭の連獅子)[5件] ・村芝居[4件] ・飛騨んじいの話、新島との交流も継続していること[2件] ・六厩分校の校舎 ・それぞれの地区に歴史があり、物語があり、それを伝承する取り組みもある(荘川桜、新島

	<ul style="list-style-type: none"> 交流[2 件] ・祭礼を中心とした若者中心の文化の伝承とふるさと祭りへの協力 ・豊かな文化 ・芸事が好きな人が多い ・歴史があり、お祭りなどが盛ん[2 件] ・古くからの歴史がある(村芝居、一色惣則の農山村風景、恐竜の里、荘川桜、飛騨んじい) ・荘川の里の建物 ・歴史や伝統文化の継承
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に誇るそばがおいしい[5 件] ・特産品がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・別荘の人口が増加 ・保・小・中一貫教育を高山の中で最も進めている[5 件] ・良い意味で飛騨の良さが残るまち(自然・人情・祭り・歴史・子ども・建物・誇り) ・大学研究のフィールドになっている(ミズバショウ・化石等) ・トヨタの保養所がある ・荘川の自然と文化を大切にしている ・信仰心が強い ・漁業 ・自分たちの地域が一番と思う気持ちの強さ(誇りと自信、守っていこうと思う気持ち) ・ユネスコ学校

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・強みを総括していける組織(地域と行政との役割分担) ・まちづくり協議会と支所の連携 ・組織が弱い ・行事が多く、負担が多い ・新たな取り組みがない
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少なくなっていくので困る[5 件] ・子どもが少なくなっていく地域が寂しい[8 件] ・高齢化[6 件] ・人口が少なく、高齢化等で行事等の運営ができない ・人口の減少による人手不足(PTA、祭りの担い手)
働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の働く場所がない ・働く場所が少ない[5 件] ・仕事の種類が少ない
地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地まで遠いので、高齢者になると必要であってもいけない ・車がないと地域内の用事ができない ・交通の便が悪い[3 件] ・雨量が多い[4 件] ・寒い。雪が多い。除雪が大変[7 件] ・雪で道路状況が悪い ・白川の通過点 ・荘川白川間の国道が悪い ・市内サービスを市街地と同様に受けられないこと
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家(弁護士・司法書士)が少ない

	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の IC のひるがの高原に持っていかれている ・良さを生かすための市をあげての戦略が見えにくい ・産業がない ・個々の生活だけで地域の問題等まで考える気持ちの余裕がない ・産廃施設計画(今後の課題となる) ・他者の受け入れ ・他地域を知ろうという意識 ・自分たちの地域が一番と思う気持ちの強さ(井の中の蛙) ・廃屋となった別荘 ・30～40 代の独身男性が多い(おしゃれをしない、異性とのコミュニケーションが苦手)
--	--

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に頼るのではなく、地域で何とかしようとする意識が高まっている
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長を各地域にしているため、地域毎や全体としての関わりがまとまりやすい ・積極的に何でも参加する(体育振興部) ・委員になっても参加してくれない。サービス業で日曜勤務により参加できない人もいる(体育振興部) ・町内一斉美化活動 ・マンパワー不足(高齢化と人口減) ・キーパーソン不足(目立ちたくない？リーダーシップをとれる 30～40 代の不足) ・ふるさと祭りは、町をあげてがんばって継続している[4 件] ・多くの地域行事が残っている(パワーがある) ・町内一斉清掃の行事のおかげで美化意識が高い ・スポーツ大会が盛大
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化が根付いている ・伝統文化が受け継がれている(ふるさと祭り、村芝居) ・祭り文化の存続、継承
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの教育環境づくりや教育について、地域で考えてくれている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業(温泉、荘川桜、そばなど) ・「荘川の子を育む検討委員会」での提言書の提出 ・ユネスコエコパークの拡張に協力できたこと ・高齢者の使いやすい公民館づくり ・町内会の存続が難しくなってくる(役が多い) ・防災意識の高揚を図る

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・3 世代同居など次代へつながる家族がたくさんいるまち ・交流人口や 2 地域居住などでにぎわうまち
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・若い人の助け合いがよくできている
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎が心から良いと思っている人が住みやすく、おもしろがれるまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的な行事が薄れつつあるような気がする ・懐かしい日本の原風景を体感できるまち(豊かな自然、風景、素朴な料理等) ・伝統芸能を生かした文化のまち(教養のまち) ・芸術のまち ・古い歴史(お芝居、荘川桜、飛騨んじい)を生かし、広く県内外へ発信する

福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・荘川は高齢化が進んでいるが、荘川へ行くと心豊かに老後が暮らせるという町にできるとよい ・高齢者が心豊かに過ごせるまち ・子育てがしやすいまち
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつまでも健康で、安全・安心に老後を過ごせるまち ・自然を大切に、安全・安心で風評被害に負けないまちづくり
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全国でも高山市の中でも特徴が際立っている小中学校(同じことをやっているのではない学校)があるまち ・自然や伝統文化を教育にダイナミックに取り入れ、心豊かに育つ学校づくり ・最先端の ITC 教育や大学教育と連携し、力をつけることができる学校づくり ・この学校に通わせたいと人が集まってくる学校があるまち。際立った特色があれば、人は集まり、人が育つ ・支所地域は特に職場の有無よりも、保育教育の環境がしっかりあるかという視点が重要かと思う。学校は地域とともにある学校づくりを、荘川のまちは学校を核としたまちづくりを推進していくことが将来の高山市にとって大事だと考える ・保・小・中の一貫教育をうりにするまちづくり(荘川の独特な学校の建物)[2 件]
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の良さを活かして、楽しむまち ・自然を大切に、人にやさしいまち[2 件] ・子どもを自然の中で育てる試みを考えてほしい ・四季の移り変わりを楽しんでいただくイベント、自然を楽しんでもらえるまちづくり ・豊かな自然と四季の美しさを求めて訪れる人でにぎわうまち ・荘川桜のブランドを活かして、町全体に荘川桜 2 世を植樹[2 件] ・荘川桜を生かしたまちづくり[2 件]
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・涼しさを利用した農産物づくり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人の良い所が多くある ・子どもたちが少なくて寂しいので、多くなるように ・生活を楽しめるまちづくり ・最新設備の整ったまち ・スポーツ教育(ゴルフ場の利用)。マナー等教育特区化(レベルアップ、底上げ) ・夏だけ都会から家族(子ども)が地域の学校で学ぶ ・地域で安心して住む ・終の棲家 ・医療の充実、買い物・生活必需品を調達するための交通弱者への支援の充実などを図る必要がある ・冬でも快適に住める家に住みたい

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながり
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に地域課題を取り上げながら、対策に取り組む。課題としてみんなが考えていくことが大切。そのためには、時に市へ提言することも必要 ・町内会の統合[3 件] ・まちづくり協議会の 4 部会で、強みを共有し、強みを活かす取り組みを進めていくこと ・一体となって問題解決に取り組もうとすること ・少子高齢化に対して地域として考えを強く持っていてほしい

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の行事に取り組む ・町内会活動
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり(健康体操を中心としたサロンの継続)
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の質を高める ・ふるさと祭りの継続[2件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・保・小・中の子どもの育て方がよくできている ・人口を増やすようお互いがんばってほしい ・空家が多くなりつつあるが、活用方法を考えてみる ・若者に受け継ぐ ・村芝居を市内外で公演する ・地域の子どもたちをどう育てたいか、夢を語り合うこと ・現状の施設(道の駅、桜花の湯、荘川高原ゴルフ場、スキー場等)を大切にする ・観光誘客事業 ・小中学校では荘川の獅子舞などを教えてほしい ・少子高齢化をなくす。都会からの移住者を増やす ・小中一貫校にし、都会の住民を取り込む ・秋葉さまの活用

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と市の交流をさらに行う(意思疎通)
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の共有化をすること
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と行政が協働する仕組みが見えにくい気がする。例えば荘川の場合、まちづくり協議会と支所が連携・協力する仕組みをより明らかにして、強みを活かした取り組みを進めることが大切だと思う
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと祭りを続けられるよう協力してほしい[2件] ・祭りを残す
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光で訪れる、立ち寄ってくれる店を作る ・荘川ツアーを行う
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者を気持ちよく受け入れる体制 ・問題点の意見交換(一部ではなく全員と) ・環境づくり ・PR活動

3. 市が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活に取り組む
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能施設の建設。福祉サービス公社のデイサービスを少し直して、小規模多機能を可能にしてほしい ・医療の充実
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイナミックな教育ができるよう、人とお金と知恵を出してもらうこと ・教育施設の早期建設 ・義務教育学校として学校を残す[2件] ・学校教育活動の発信をしていく ・教育環境の整備 ・義務教育

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 156 号、257 号の整備[3 件] ・国道 158 号の早期改良
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・工場等の誘致 ・保育園と福祉センターを複合化した施設の建設 ・地域の PR 活動 ・経済的支援 ・広範囲になった高山市。各支所地域の良さ・特色(強み)が生きる「地域のまちづくりを進めていくこと」だと思う ・外から荘川へ人を送り込んでほしい ・高山に遊びにきたら、荘川にも遊びに来てくれるような方法 ・交通の便をよくする ・人が集められる施設づくり ・補助制度の充実(少子高齢化に向けて)

その他意見、提案

- ・支所ワーキングホリデー in 荘川では、大学生3名が2週間滞在し、そばの製麺を行った。田舎暮らしにつながるよう来年以降も行えば活性化を図ることができる
- ・20年ほど荘川の別荘に足を運んでいる人が、最近になって荘川の村芝居を知った。荘川のことをうまくPRすることで、ネットワーク・人脈が広がるため、これからは情報発信が重要である
- ・荘川の住民は、地域に学校を残したいと願っていることが分かった。そこで、荘川には、この学校に通わせたいと思えるような特色ある学校を作っていたideきたい。六厩にある昭和の分校や荘川の里の建物などのような荘川ならではの学校がいいと思う。また逆に、最先端の ICT 教育を導入することで、少人数でも特色ある際立った学校、特色あるまちづくりによって、夢を持てる地域になると思う
- ・荘川では、昔から地域の伝統文化である民謡や獅子舞などを小学校の時から学校教育の一環として教えている。このことがふるさとを思う気持ちや伝統文化が体に染み込むことにつながり、大事な宝物になる。学校の先生には教えていただき大変感謝している
- ・荘川の特色ある教育として、中学生が岐阜大学とコラボして水芭蕉の研究を行ったり、京都大学から化石の研究に来たりするなど、大学の研究者が荘川をフィールドにしている。今年は心理教育のために岐阜大学の先生が荘川に来たが、近いので来やすいという。専門的な先生に来てもらうことで、地域や教育の活性化になる
- ・介護認定率が低いのは、荘川には介護保険施設がデイサービスしかなく、他のサービスが使えないからである。小規模多機能施設があれば、老後も荘川で住み続けることができるので考えていただきたい

地域のまちづくりに関する意見

地域名（一之宮）

12月14日（金） 7:30～21:20

参加人数15人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・市中心部に近い(交通の利便性等)[5件] ・地形が平坦で、大変ありがたい ・地域がコンパクト ・地理的にも一点集中した地域で、歴史的文化財などがまとまっている[2件] ・市中心部から一番近いスキー場(モンドウス)がある[3件] ・JRとバスがある ・臥龍桜・水無神社・モンドウス等素晴らしい観光地がある
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまとまり・団結力が強い[2件] ・保育園・小学校・中学校が一緒に一体感がある[4件] ・隣近所が分かる。顔が分かる[2件] ・人が良い(集まり、人情) ・面倒見がいい ・子どもを大事にする地域 ・地域の格差がない
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に活動できることが多い ・特に各班内の美化活動への取り組みが良い[2件] ・あいさつ ・行事への協力者が多い ・講座が多い
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か(位山)[3件] ・水資源(源流)、分水嶺[5件] ・臥龍桜(常泉寺の桜並木)[2件] ・田園風景 ・原風景
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・地域独自の歴史文化がある(水無神社の神事芸能の影響大)。三木氏等の関係 ・臥龍桜・水無神社等の文化資源を伝統的に守っている ・水無神社[3件] ・宮笠[2件] ・まゆ雛[2件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ベットタウンとなり、人も入っている ・空家・空地が少ない ・自然環境・伝統文化等いろいろある ・地元愛が強い

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・立地条件に恵まれているが故に、個人・世帯独自の生活行動が可能で、地域が連携した行動の必要性が薄れていく ・まち協の取り組み方が、積極的に参加してもらおう形になっていない。役が当たるから仕方なく参加していると思う
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行われていた班内の常会が近年行われなくなり、コミュニケーションが薄くなっている ・町内の役職が多く、班への未加入が目立つ ・町内会・まち協・神社等の役が多い ・常会がない地区がある ・人口が少ないため、早く役が回ってくる
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいる ・伝統文化の担い手が少なくなっている。高齢化が進んでいる ・後継者が大変
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・競争心が低い ・人任せにする[4件] ・右にならえが強い ・強い者に対して同調する傾向があり、個性を出しにくい面がある ・良い所を生かしきれていない ・人間関係が希薄 ・地域のコミュニケーション減 ・地元以外の他の交流が少ない(発展性がない) ・危機意識が低い ・文化を守ることに固執している。生かしきれていない ・素晴らしい観光資源が一之宮町の活性化に活かされていない ・神社・スキー場を守りきれていない ・国道が止まると生活に困る(道が1本しかない)[7件] ・公共交通機関(バスのルート)が発達していない ・きれいな水を飲みたい。旧高山市ではおいしい水が飲まれている ・働く場が少ない[2件] ・村時代の名残が消えない(負担金) ・改革への抵抗がある

②まち協などの地域活動の成果等(地域での取り組みの成果、課題、改善点など)

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の付き合い(班の活動、祭り、消防等)で連携し、隣近所の状況が分かる ・まち協の活動より、班などの小集団で集まりやすい活動ができると良い ・夏祭り・文化祭等のまち協行事に若者の参加が目立つようになった[2件] ・納涼夏祭り・トレイルラン・文化祭等、小中高生と一体となって行事に取り組んでいることは、子どもたち(若者)のふるさとの良い記憶となり、効果がある ・小・中・高の連帯感ある行事[2件] ・各イベント・行事 ・夏祭り・老人会等文化的行事 ・次世代のまち協などの担い手 ・従来からの制度のまま、改革が進まない ・アクティブプロジェクトの活動[2件] ・女性の頑張り ・高齢化への取り組みが課題 ・サークル活動 ・がやがや会議 ・がやがや会議での吸い上げをまち協で計画 ・中学生も様々な活動に参加
------	---

連携	・学校とイベントに取り組んでいる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・協調社会に向けて気軽に参加しやすいものへ ・みんなの食堂(さくら食堂) ・モンデウスの利用方法 ・保・小・中・高の一体感がある ・講座から趣味への発展がある[3件] ・一体感 ・社会教育の流れに変化の兆し ・組織のスリム化 ・サクラ街道

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の輪を活かし、誰もが参加できるまちづくり ・子どもが気楽に挨拶できるまち ・絆を大切にしたいあたたかなまち ・皆の顔が分かる町(イベント等)
助け合い	・交通弱者(高齢者等)を援助。買い物等
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたくなるまちづくり ・将来誇れるようにできる
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・水無神社等の歴史を活かし、魅力あるまちにしたい ・歴史的文化財(神社・臥龍桜)や資源(位山・モンデウススキー場)を大切にして、一之宮地域から発信できるまちづくり
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川河川(堤防)を利用した健康歩道 ・地域で子どもたちを育み、安心して子育てができるまちづくり(まちづくり目標の一つ) ・地域で子どもたちを育てる ・子育てしやすい町 ・子どもを育てやすい地域として呼び込む
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然(資源)の良さを活かし、地域住民や観光客に向けた源流・位山ツーリズム・トレッキング・農業 ・田園風景を活かし、地域住民や観光客に向けたグリーンツーリズム・農業体験・文化体験(芸能) ・桜の郷、桜並木(常泉寺川沿い)の保護と対外的なPR ・自然を生かしたプランで人を呼び込む、アピールする[3件] ・自然の良さを活かし、ホッとするまち ・水を大切にしたい豊かなまちづくり
安全・安心	・安全・安心な町
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・位山・川上岳・水無神社・乙寺などの地域資源を生かした観光を含めた市民の憩いの場となるまちづくり ・外国人観光客に向けた、田園風景を利用した(JRと高山市の協力を得て)サイクリングを満喫してもらおうコースをつくる ・バイクツーリングがモンデウスに集まるようにしたい ・自然・歴史を活かし、ふれあい交流(まゆ雛、一位笠、コンパクト、土産などの特産品の開発) ・相互に認め合える雰囲気づくり ・おいしい米づくりで明るい町

	・アニメ
--	------

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	・子どもからお年寄りが一緒に行動できるイベントの開催
地域への愛着	・将来子どもが地元へ戻ってこられるような環境を ・子どもが故郷に戻れる(雰囲気)のまちづくり
防災・安全対策	・自然災害の応援活動
地域活動の推進	・地域でできること・することの明確化 ・班や役を考え直す ・できる人がするのではなく、若者が参加しやすい取り組み・まちづくり ・地域が何かしてやるということではなく、自発的に何かしたくなるような取り組みが必要(雰囲気づくり) ・誰かがしてくれるのではなく、自分がする ・ボランティア活動(地域見守り隊) ・子どもと一緒に取り組みがあること
福祉	・地域が一体となって子どもたちを育てる[2件] ・子育てがしやすい地域で見守る。住んでみたい町
環境保護	・桜の郷
その他	・人口減少を防ぐ ・子どもの育成 ・若い世代が住みたい地域にするために新しい産業を考える(あぶらえ、ブルーベリー等) ・特産品産業を生み出す[2件] ・6次産業 ・交通弱者(高齢者等)の買い物等を援助。まち協として取り組みができるか ・水無神社の観光PR ・バスで観光できるよう、特産品や景観等を磨く ・河川敷の公園化 ・受益者負担の導入 ・弱者救済

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	・世代を問わず、気軽に集まることのできる場所づくり
連携	・行政と地域の役割分担と協働の推進に向けた具体的な方針決定 ・一之宮だけではなく久々野などと連携した観光政策の推進
地域活動の推進	・地域の良さを引き出すため、支所と若者がかかわることで、若い力が加わり活性化する。
その他	・高齢者の動ける・働ける場所 ・6次産業の開発 ・生活基盤の確立 ・コミュニティ交通の充実。ボランティアによる自家用車での旧市内・病院・スーパー等への送迎 ・専門で取り組める人材を配置する ・地域学校協働活動(コミュニティスクール) ・産学官連携活動

3. 市が取り組むこと

連携	・観光において久々野と連携する上での仲介役
防災・安全対策	・防災無線の一之宮地区限定の情報
地域活動の推進	・まち協に対し、支援金を増額すること[2件] ・自由に使える財政補助 ・まち協資金の自由度 ・まち協・町内会を一本化にする方策[2件]
道路	・道(遊歩道) ・道路網の整備
その他	・河川整備(公園化) ・働く場所(産業)を作る ・地域活性化に向けた都市計画の策定[2件] ・都市整備区域の見直し[2件] ・インフラ整備(特に国道41号の整備。国への働きかけ)[2件] ・生産年齢人口が年々減っているため、要介護・要支援者を支える体制の充実 ・一之宮地域の住民の意見の実現 ・交通弱者対策。のらマイカーは不便。利用しやすく ・土地基盤及び費用がかかること全般 ・人口増加への市の取り組み ・公共交通の確保(高齢者の移動手段) ・文化財の見直し

その他意見、提案

- ・八次総に教育参画会議の記載があり、他地域では行われているが、一之宮地域では行われていない。計画倒れになっているのではないかと。また、平成31年に教育振興基本計画が終了するが、今後はどのような位置づけになるのか。まち協でも考えていきたい
- ・まち協の取り組みは奥が深いのでアドバイスが欲しいが、まちづくりのコーディネーター等を活用する仕組みがない。人的支援を考えてほしい
- ・まち協と町内会の区別が分かりにくいいため、一体化できないか。今後はまち協が中心になって関係を整理していきたいと考えている
- ・いい意見があっても財政的な理由で断られる。今は対応できないが将来的に対応できるようにしてほしい

地域のまちづくりに関する意見

地域名 (久々野)

11月15日(木) 19:30 ~ 21:30

参加人数 16人

①お住まいの地域の特徴 (地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など)

強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 41 号がある ・JRの駅がある ・宮峠トンネルの開通(2020 年) ・支所を中心としてコンパクトにまとまった地形
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代同居が多い ・道の駅で販売できる ・子ども会活動が活発 ・地域のつながりが強い ・昔なじみが多いので人付き合いがよい ・団結力がある ・集う場(虹流館くぐの、公民館)がある
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの盛り上がりがある ・道の駅のアップルパイが有名 ・夏の花火大会
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業が元気 ・農家の後継者がいる ・農業を中心に自立した若者がいる ・果樹(リンゴ、モモ等)、高冷地野菜の生産
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か(高屹山、女男滝、あららぎ湖) ・アルコピアスキー場がある(シンボル) ・アユがとれる ・ひまわり園(アルコピア・夏)
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・祭、伝統文化が受け継がれている ・小屋名しょうけ、有道しゃくし ・堂之上遺跡
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・虹流館(一体型)施設 ・診療所

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の参加率が低い
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が少ない ・働くところがない ・人口減少、少子高齢化がすすんでいる ・高齢者の増加 ・集落機能の低下 ・昼間、若者がいない ・農地が荒れていく ・大卒者の雇用場所が少ない ・結婚していない男性、女性のいる家庭が散見される

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が卒業すると地元へ帰ってこない ・寒冷地 ・交通不便なところがある(通勤、通学) ・映画館等娯楽施設がない ・公園がほとんどない ・職場を旧高山の地域に依存している ・地域が分散している ・宮峠トンネルの開通により発展に向かうのか逆になるのか ・夜は暗い ・公共交通が少ない ・強みであるスキー場を活かしきれていない
-----	---

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのつながり
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の参加が増え、まち協のにぎわいが出始めた ・文化活動が活発化しつつある、幅広く展開されている ・活動のマンネリ化(参加者の固定化) ・子ども会、リサイクル活動が活発 ・体育部の継続した活動(第50回、60回大会の開催) ・アルコピアスキー場の年間を通じての利用を考えている ・独自の取り組みへの意欲が高い ・行事などに限られた人のみ参加 ・地域活動に積極的に取り組む人材が出てきている ・地域課題への取り組みが弱い(福祉関係) ・若者の参加が少ない ・地域防災教育が充実してきた
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩大学との連携により関係人口が増えた ・地域にあるNPOが住民を大切にした取り組みを行っている ・大学連携によるアクティブラーニング事業は良い ・大学との連携を中学生にも広げたことは有意義なことだと思う
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協と行政の一体感がない ・交流の活性化など役に立っている ・前身の社教からの基礎があり、スポーツ、生涯学習、コミュニティなど、多方面で成果があがっているが、若い世代の減少によりいろいろな面で衰退している ・世代交代が必要 ・まち協事務局で町内会活動の補助をしてくれる ・活動がよく見えない ・子ども会活動は、春秋2回のリサイクル活動の助成金で成り立っている ・おもいきって断捨離する(行事が多い)

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり運営委員会を発展させ、多くの人が参加、集えるまち ・地域の人のつながりと資源を大切にされた学校を核にすえた教育・文化のまち ・人とのかつがりの良さを活かした仲の良い住みやすいまち ・老人のみの家庭が増加するなかで、地区の住民のかつがりをなくさないまち ・今後、子ども達はまちの宝になるため、スポーツ、習い事を含め子ども達とふれあえる時間を増やす(授業の一つとして取り入れてはどうか)
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでも住み続けられるまち[2件] ・子どもたちとの対話、交流を深め、地域の良さをアピールする
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化を活かし、人を育てるまち[2件] ・地域の伝統文化を承継し、子どもから大人までつながるまち ・祭、小屋名しょうけ、有道しゃくしなどの伝統文化を大切にするまち
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中や老後が暮らしやすいまち ・子どもを大切にする地域づくり ・障がい者も自立して暮らせるまち
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な暮らしができるまち[2件]
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹・野菜を活かし、ビジネスの出来るまち ・果樹を活かした交流人口が増えるまち ・果物の加工食品を多くし販路を強化する ・果物・野菜の生産を活かし、フルーツランド里のように人を呼び込む ・果樹・野菜を活かしたスイーツのまち ・果樹を活かして交流人口の増加をはかる ・地域に産業があること(働く場) ・働ける場所をつくる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・宮峠トンネルの開通で働きやすいまち、通勤が楽になることを活かす ・住みやすいという言葉が似合うまち ・子どもの元気な声が聞こえるまち ・お年寄りが日向ぼっこしている風景が似合うまち ・自然(山・川・果樹)を活かしたまち ・宮久々野トンネルを活かし、住宅地を整備し、人口を多くする ・活気のあるまち ・生活基盤が整っているまち ・自然に恵まれた環境を活かし、伝統を大切に守り、継承していくまち ・スキー場を活かし、外国(特に東南アジア)の人を呼べるシステムづくり ・まちづくり運営委員会を中心にいろいろなことを企画して市民参加できるまちに ・出産支援(1人目〇万円など)

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・2世帯交流を促進し、独居老人を見過ごさない ・婦人会とニコニコサロン(高齢者)との交流(子供連れ) ・子育て家庭、高齢者の支え合い ・スポーツはスポーツ、文化は文化ではなく、異業種交流(横のかつがり)がしたい ・戻れるまちづくり、誇りを持てるまちづくり
------	---

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災に力を入れる[3件] ・地域防災体制の強化は大切であり、もっと地域の方々(消防団)の意識を高める
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の継続 ・社会教育、生涯学習、コミュニティスクール ・地域風土を守る ・広報 ・人のつながりを強くする ・子どもに伝統文化を伝える ・まち協の役割を強化し、活性化に取り組む ・地域の見守り活動(子ども・お年寄り)
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・班、組のコミュニティを強化していく ・まち協と町内会とが一緒になる取り組み
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹の売り方、加工の仕方 ・観光資源の発掘 ・自然を活かした誘客 ・農家同士がつながりをもって情報発信 ・農業だけでなく、商業、サービス業も活発になっていくように工夫 ・フルーツランドに高山から人を呼び込む。外国人を呼び込む ・素材の生産、生産者の確保、育成、仲間づくり ・商品化のアイデアを出す
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの継承・保存活動(DVD作成など) ・久々野と中心部を結ぶイベントなど ・地域の良さをアピール ・自分達でできることは自分達であることを基本とする ・のらマイカーなど地域住民でできないか

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人と会話できるシステムづくり ・インターネット、SNSなどによる久々野地域のPR ・UIターン促進のPR
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保、小、中は強くつながっているが、高になるとはなれてしまうので、何か良い案はないか
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の市民税を免除
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が幸せと思える様な活動 ・学校運営に地域住民が積極的に関わるコミュニティスクールづくり
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の充実
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業を育てる支援 ・指導者の育成
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策 ・外部への情報発信 ・猟銃所有者の増加 ・トンネル開通後の対策 ・介護の充実 ・人口減少を緩やかに(空家対策、子育て支援)

3. 市が取り組むこと

交流の場	・人口が多い地域と久々野の交流
防災・安全対策	・安全、安心に取り組む
産業	・山林の管理、林業の活性化 ・若者の就業
福祉	・三世同居の促進 ・子育て、高齢者の支え合い ・子孫繁栄、結婚の促進
その他	・インフラの維持・管理[2件] ・安価な市営住宅の供給[2件] ・デマンドタクシーの毎日運行 ・地域にもっと目を向ける ・伝統文化の承継、技術の向上 ・今ある施設を残して活用する ・定住、移住に取り組む

その他意見、提案

- ・水銀灯は今年の春で製造中止になったので、道路や橋、学校施設にある水銀灯を計画的に切り替えてほしい
- ・橋についている外灯をLEDに切り替えてほしい
- ・路面の標識やラインが薄くなって見にくいので対応してほしい
- ・限界集落について市は把握しているのか
- ・限界集落にならないように、市はどのように取り組むのかわかるようにしてほしい

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 朝日 ） 11月30日（水） 19:00 ~ 20:30

参加人数 15人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・カクレハ高原[5件] ・鈴蘭高原[3件] ・美女高原 ・道の駅が立派な施設 ・ダムサイド(春は桜、秋は紅葉) ・市中心部と距離が近く、交通利便性が高い[3件] ・市中心部と近いのに気づいていない ・高地である[2件]
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・人の絆・つながりが強い[3件] ・子どもからお年寄りまで顔が分かる。家族構成が分かる[2件] ・年代が違って仲が良い ・子どもは年齢に関係なく交流がある ・個々の世帯と近い ・地域ぐるみでの子育て[2件] ・目が行き届く
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの地元愛が強い ・地元に残りたいという気持ちがある[3件] ・この地が好き
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン in あさひ[3件] ・あさひのかたち ・夏祭り(花火)[2件] ・楽しめる行事がある(夏祭り、花火とレゲエ、ハロウィン、スポーツ大会、成人式等) ・各町内の例祭(少子高齢化が課題)
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・桜[3件] ・氷まつり ・氷点下の森[4件] ・氷点下の森は宿泊につながらない。担い手不足 ・ダムの紅葉 ・自然が豊か[3件]
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・45の神社があり、自然や文化がたくさんある ・神社・寺
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・よもぎもち・美女もち ・高地を利用した農業 ・畜産
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日小・中学校の評価が高い ・学習力が高い ・郷土学習が根付いている[2件] ・朝高子どもしとねる会

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源が豊か ・自然災害が少ない[3 件] ・寒いわりには雪が少なく、苦勞が少ない[3 件] ・夏は涼しい ・子育て環境が良い ・子どもの力が強い[2 件] ・在宅医療[2 件] ・畜産産業があるため、広いわりには放置された土地が少ない[2 件] ・よく働く ・静か[2 件] ・土地が多い ・土地が良い ・公共施設の利用 ・民泊 ・ウォーキング ・Iターン者が多い
-----	---

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・役が多い。同じ人がいくつも取り組んでいる[5 件] ・人材不足[4 件] ・リーダーのなり手不足[3 件] ・後継者がいない[3 件] ・担い手不足 ・団体が多い[2 件] ・しがらみが多い[4 件] ・人任せ[2 件] ・自主性がない[2 件] ・足を引っ張る人がいる[2 件] ・道路沿いの花壇管理をどうにかできないか ・情報発信がない。一方通行
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減[7 件] ・少子化のため、中学校の部活の種類が少なく、選択肢が狭い[2 件] ・高校を卒業してから大学進学や就職により地域を出ていく ・子どもや若い世代が少ない[2 件] ・若者の転出 ・若者がUターンできない ・高齢化[4 件] ・独居老人 ・高齢者世帯が多い[2 件] ・空家が多い、空家が有効利用できていない[3 件]
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・市中心部への交通手段が少ない ・交通の便が悪い
地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路までのアクセス道が不十分 ・買い物難民 ・都市からのアクセス

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物がない、少ない[6件] ・就職先・仕事がない[8件] ・したいことが選べない ・給料が安い ・除雪が中途半端。悪い[4件] ・雪 ・習い事[3件] ・獣害[3件] ・空家 ・道の駅に魅力がない[3件] ・宿泊者が少ない ・地域性 ・花壇の管理者 ・部活
-----	---

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の土台がしっかりしているため、子どもの力が強い ・参加者は同じ人が多い[4件] ・参加者が少ない ・夏祭り・スポーツ大会・花壇作り等たくさんの参加がある ・興味がなければ来ない行事。文化祭、研修 ・イベントの開催(夏祭り[4件]・ハロウィン[2件]に特徴がある) ・あさひのかたち ・レゲエ[2件]と花火 ・文化祭 ・すもう大会 ・スポーツ大会 ・氷点下の森・氷祭りの観光客が多い(バスツアーは3か月続く) ・人が集まるイベント ・イベントの工夫[3件] ・イベントの参加 ・発信力の弱さ[3件] ・花壇作りがすばらしい ・朝高子どもしとねる会[2件] ・朝日の歌
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・甲地区で草刈り等によりイノシシを追い出したが、まだ4匹程いる

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・円空仏
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが帰ってこられるまちづくり ・子どもたちが帰ってきたいまちづくり[3件]、子どもが帰りたくなるような里づくり[2件]
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かし、朝日町を自慢できるように ・地域資源を活かしたまちづくり[2件] ・山・自然等田舎の良さを強みに ・水資源を大切にする[2件]

	<ul style="list-style-type: none"> ・山や自然を活かした誘客 ・里山の活用[2 件] ・山林 ・自然 ・桜 ・乗鞍の水は財産 ・朝日は日が昇るのが早く、気分が違う[2 件]
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢でも楽しく生きていける
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少なく住みやすい。雪が少ない(外から見ればリゾート) ・治安がいい[2 件] ・安心して住める
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は他地域とのネットワークづくり ・このままの環境を生かす[2 件] ・変化を求めない ・将来的に都会で住み続けるのは難しいと考えると、朝日地域の雰囲気はそのまま変わってほしくなく、素のまま維持してもらいたい。高山の古い町並などはいつ来ても作られた観光地と言われる。自然を求められている ・小規模校を生かした学校づくり ・子育てに適した地域(特色のある学校) ・地域の将来像 ・住みやすい町 ・住みよい、勢いのあるまち ・住みよいまちは、いきよいまち ・交通の利便性を高め、住みやすい町に ・誰もが来なくなる資源作り[3 件] ・誰もが来なくなるようなまちづくり ・移住者を増やす ・雰囲気はこのままで、田舎暮らしを発信 ・空家 ・インスタ映え ・用水路の活用 ・アクセスの改善 ・大学等と交流し地域のことを学校で出してもらおう ・きれいな市となるように取り組む ・田舎の良さを ・温暖化の対策 ・災害を減らす ・公共交通機関 ・学校を残さず

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校による、海・山の相互交流。海の子・山の子交流[2 件]
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して住める町

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自主性を高める[3件] ・自分たちで行うことに気づかせる ・里山・水辺等の環境整備
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの帰ってきたい教育。地域の良さを伝える[2件] ・特色ある学校づくり
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市税の問題 ・自助意識を芽生えさせる[2件] ・地域の子どもを呼び込む ・ダムサイドの紅葉を整備 ・朝日町の雰囲気が良いため、残すべき ・田舎暮らしを発信 ・水の産業は何かならないのか ・買い物の場所が少ない ・知らない人が多いため、魅力が伝わるように仕組んでいく

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日夏まつり。久々野、朝日、高根のブランドとして発信する
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・発信の仕方・発信力 ・情報発信を行う ・高山地域一円のつながりを持つ
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のこと ・学校は残したい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーチューブ等で発信する ・秋神ダムサイド整備 ・公共施設、若者の施設 ・桜・紅葉等の植樹[3件] ・トレッキングコース等の整備[2件] ・共助[2件] ・移住者・観光客 ・インバウンド効果 ・用水の管理[2件] ・水力発電 ・里山ルート ・高山のネームバリューを活かす ・桜・花火・レゲエ等高山のブランドとして発信 ・高山ブランドを利用 ・子どもが働ける環境づくり ・若い世代が高山に戻れるような取り組み ・さらなるアクセスの改善 ・特産物の発掘

3. 市が取り組むこと

教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を残してほしい ・魅力ある学校 ・小規模校でも特色ある学校(小・中学校)
----	---

働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・将来子どもが働ける環境 ・働ける環境[2 件]
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなるアクセスの改善 ・市内へのアクセス改善 ・美女街道よりのアクセス
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが帰ってこられるような対策[2 件] ・子どもが地元に残れる地域に ・特産物の掘り起こし[4 件] ・医療・福祉が充実しないと帰ってきてくれない ・公助[2 件] ・水の産業[2 件] ・産業の掘り起こし ・医療・福祉・教育の充実 ・若者が帰れる施策(奨学金) ・花壇が中途半端のため、きれいな道づくり ・人口減少を食い止める ・ダム周りの森を紅葉樹林にする(湖面に映るように) ・ネットワークづくり(コマーシャル) ・地域産業の CM、インターネットの活用 ・果樹がないので掘り起こすこと ・分かりやすく情報発信[4 件] ・AI 利用

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 高根 ）

11月13日（火）19:00~20:40

参加人数14人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・高山の東の玄関口である ・標高が高い ・寒さは厳しいが、積雪は1m程で豪雪地域よりは生活しやすい ・地球温暖化により、冷涼な高冷地の利点は増す ・寒暖差が大きく、標高の高低さも大きい、土地（森林面積）が広い
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・人柄がまるい（頼まれると断れない） ・特産品の生産販売を通じ、地域の助け合い、つながりができている
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・のくとい館、たかね号などの地域独自の高齢者支援の取り組み ・地域活動がある（運動会、納涼祭、文化祭など） ・子どもが少なく、人口自体が少ないが、住民全員で見守りができている
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・千町牧場の景観 ・標高差、寒暖差を活かした高冷地野菜 ・町に3,000m級の山岳が2箇所（乗鞍岳、御嶽山）あり、自然が雄大 ・川の水がきれい
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・石仏がある（どこにでもはない、桁外れなもの） ・江戸街道、鎌倉街道、野麦街道 ・野麦峠の歴史 ・人口が減少しているなかでも、知恵を絞り工夫し、伝統の祭を継承している
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少ないのが逆に強み（サービスが濃く受けられる） ・人口が少ないことにより、恩恵にあやかる人が多いこと ・これからは、人が少ないところが注目されるのでは
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・メイド・バイ飛驒高山認証制度に認証された特産品が3つもある（タカネコーン、火畑そば、たかねの蜂蜜） ・タカネコーン、火畑そば、たかねの蜂蜜以外にも、まだまだ高根のお宝は眠っている（海外の人は魅了されることばかり） ・特産物があり、今後が期待できる（タカネコーン、ハウレンソウ、そば、飛驒牛など） ・観光資源がある（2箇所のキャンプ場、石仏、野麦峠、スキー場、温泉） ・農産物（高冷地野菜）の品質が良い ・野麦峠、キャンプ場、塩沢温泉、石仏群、スキー場、乗鞍岳、御嶽山、千町牧場、高冷地野菜、ハウレンソウ、とうもろこし、飛驒牛 ・標高が高く、昼夜の寒暖差や寒冷な気候を活かした農業、農産物 ・飛驒牛は300頭で人口より多い、全共にも5頭出て、賞を総なめにしている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニングの拠点がある ・若い子が頑張っている（少ないが） ・高齢者でも何とか畑仕事をする事により、介護認定率が低い ・高山（飛驒）、信州、木曾の3つの文化の融合 ・めでた、食文化など独自の文化 ・すな、いもきやもちなどの食文化

	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニングは、アスリートだけではなく、地元住民の健康づくり等に役立てると良い ・ダムがある
--	--

弱み[地域の課題]

人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが極端に少ない ・独居世帯が多い ・人口減少[2件]や高齢化[4件]、空家等の増加 ・人や地域の伝統が無くなってきている ・基盤整備を実施したいが、後継者が不足している ・農業等の後継者が少ない ・生産年齢人口が少ない ・人口が少なく、販促、マーケティングの人材が少ない
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に学校がない ・高校や大学への通学に不便
集落の分散	<ul style="list-style-type: none"> ・集落が点在しており、まとまりが良くない ・集落が点在しており、集まりにくい[2件] ・地域が袋小路
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備(道路) ・道路アクセスが悪い(行き止まりが多い) ・交通が不便で、車がないと生活できない(たかね号は運行) ・車を運転できないと生活が大変
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレなど環境整備をしないと観光客は来ない[4件] ・環境整備等ができていない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地形的ハンデキャップ ・川の柳の木がひどい ・「儲けよう」という感じではない、PRが下手 ・若者が新しい事業を始めるには厳しい地域(高根が好きでも、事業を起こして生活していくには難しい地域) ・若者が帰ってくる職場がない ・歴史がひも解かれていない、現役世代から若者世代へと引き継がれていない ・リピーターが来ない ・タカネコーン、ホウレンソウ以外は、販路がない ・特産品の販路が不安定で量も少ない ・自然、農作物、歴史など手付かずの地域資源が多く、活かしきれていない ・中心市街地に通勤しても住みたいだけのメリットが少ない ・冬の寒さが厳しい

②まち協などの地域活動の成果等(地域での取り組みの成果、課題、改善点など)

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に特化した支援 ・のくとい館(社協では、高根地域限定ではなく、市全体に入居募集している)
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加率が高い(文化祭約200人、納涼祭約160人、運動会約70人) ・まちづくり協議会は、点在する地域住民をうまく集めて、文化祭や運動会を開催している ・文化祭等の参加は多いが、点在する集落からの参加者を集めるのに経費、負担がかかる
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事を通じたコミュニケーション活動 ・女性や若者が集い、取り組む仕組みづくりが必要

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を活かしたまちづくり ・地区の要望にも対応してもらいたい(用水路の改修や道路の補修、車の転落防止など) ・たかね号が、地域の足となっている ・車を運転できない人達の足 ・たかね号の運行(人口が少ないため、手厚くサービスしてもらっている) ・たかね号は 30 数名、約 1 割の人が必要としている ・ハード面の事業
-----	--

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のつながりを強め、安全・安心して暮らせるまち ・住民のつながりのあるまち
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・住むことで、何らかの張り合いを感じられるまち
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境を整え、歴史文化を継承し、誰もが住みやすいまちづくり ・野麦峠、鎌倉街道、石仏、中部北陸自然歩道などを活かした、歴史の道のまち
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・大自然の恵みを活かし、高齢者が健康に働く、元気なまち ・高齢者が住み続けられるまち ・子どもがのびのび健やかに育つまち(地域の「子ども」として大事にしている)
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数という特性を活かし、元気な高齢者が安心して暮らせるまち。若者対策 ・地域での見守りによる安全・安心に暮らせるまちづくり
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・高冷地である特性を活かした産業、農業、観光のある町[4 件] ・地域資源、高トレなどの強みを活かした観光等が活発になるまち ・高地、高冷地であることのPR(スキー、高トレ、トレッキング、登山、野菜、紅葉)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や地域住民が健康で生活できるような医療の充実を図る(医師の確保) ・自然がいっぱいで綺麗な所なので、この地を好きな人に、高地トレーニング、魚釣り、石仏めぐりなどで来てほしい ・高齢者に優しく、標高が高いため、天国に一番近いまち ・現状を維持した暮らし ・若者が結婚し、子どもを増やす ・今後、人口が増えることは考えにくいので、今住んでいる人が安心して住めるにはどうしたらよいかを考え、まちづくりを進める ・行政特区にし、高齢者が日本一住みやすい地域にする(安全・安心、住みやすさ、医療、介護) ・のくとい館やたかね号の継続

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活など集まる場所を増やす
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が参加できる行事
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のために住民一人ひとりが考え、行動し、安全・安心な住みやすい町にする ・安心して、安全に暮らせる ・空家の活用(リフォーム)
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達でできる環境整備をする(住んでいる地域を綺麗にする)
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉を利用できるようなこと ・おじいさん、おばあさんが、皆元気で現役で働き続ける

産業	<ul style="list-style-type: none"> ・高冷地野菜や飛騨牛生産の継続 ・七峰館やチャオなどの施設のPR、発展 ・農作物のブランド化を進め、UIターンによる就農者を増やす
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持しつつ、さらに人口減少することを想定しての方策[2件] ・独特の伝統文化の保存と継承 ・集落ごとの伝統のまつり等を伝承、保存する取り組み ・厳しい冬、涼しい夏、遅い春と早い秋を売り物とし、四季の移り変わりや自然を大きく宣伝 ・きめ細かい埋もれた宝の掘り起こし(良い意味での開き直り、弱点を逆手に取り、大胆な発想の転換を図る)

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活事業 ・市と連携し、若者を呼び込めるような婚活の取り組み
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達だけではできない環境整備をする(361号線沿い、地域内)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物の販売ルートの確保 ・就農者(飛騨牛、野菜)を増やす取り組み ・温泉のPR ・七峰館のPR ・宿泊施設等の確保
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と市で協力し、住みやすい町にするために行動する ・たかね号の継続 ・インフラの整備 ・金太郎飴のようなものではなく、そこにしかない宝の見極め ・飛騨牛生産地であることをPRし、千町牧場を含めて強力で推進 ・高地トレーニングエリアの利活用の推進

3. 市が取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・支所に耐震性がないため、安全な所に建て直し、安心して避難できる建物にしてもらいたい[2件]
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・若手起業家には厳しい環境のため、少しでも良いので補助や支援をしてもらいたい ・村時代から宣伝力が弱いため、地域の宣伝、PR、発信(地域の強みを存分に表現した高根の映像、DVD制作、ヒットネットの地域枠を広げる) ・観光などのPR ・旧市内の観光PR、各種事業を中心とするだけでなく、周辺地域の観光面をもっと考えて取り組んでもらいたい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が著しいという特性を活かした、ここでしかできない地域づくりができるよう「地域行政特区」のようなものに指定してもらいたい ・弱者、小さな高根地域にも目を向けてもらいたい ・登山道の整備(問合せが多い) ・交通の確保 ・インフラの整備 ・地域の宝を発掘するノウハウを持った人材の紹介

その他意見、提案

- ・第八次総合計画のまちづくり指標において、木材生産量を大きく上昇させている根拠は何か
- ・国版森林環境税により、境界明確化等を進めると総合計画でも明確に示した方が良い
- ・県の圏域統合型GISは高機能なため、森林情報に加え、課税情報、道路情報なども重ね、全庁的なシステムとして活用すべき
- ・第八次総合計画の市民満足度指標のサンプル数、年齢や職業、地域など属性のバランスは取れているのか
- ・情報化の取り組みが近年ないため、「情報化先進都市」を目指して、企画課を中心に取り組んでもらいたい
- ・地域にゼロ歳児が3人居る。日和田から朝日保育園へは片道40分かかるため園児が疲れてしまい、親からも居住地として選ばれないため、高根地域に保育園を復活してもらいたい
- ・市議会議員、公共施設総合管理計画など意見交換会が多く開かれ、役員なので出席するが負担となっている。庁内の横のつながりを持って、意見を共有するなど、住民の声を大事にもらいたい

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 国府 ） 11月 6日（火） 19:00 ~ 20:30

参加人数 19人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体が比較的平坦で住みやすい[2件] ・ベッタウン化の傾向がある ・国道・県道・JRなど交通網がある。交通の便が良い[2件] ・教育施設が固まっている。広瀬・三日町・木曾垣内に住んでいれば通園・通学が便利 ・保育園・小学校・中学校が近く、交流しやすい。進学に関して意識しやすいのではないかと考える ・地理的に飛驒の中心にある[3件] ・国府町内がコンパクトでまとまっている
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながり ・人がやさしい、人柄が良い ・町民の穏やかな人柄 ・昔から争いが少ない ・競争心がない ・地域のまとまりが良い[6件] ・連帯感が強い[2件] ・高齢者と若者の同居家庭が多い ・隣近所の協力が得られやすい ・まとまりがいい(保育園から中学校まで一つ)反面、それが活かしきれていない(おっとり)
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の行事・活動に意欲的にかかわるリーダーや中高年が多い ・地域の行事に若者が参加してくれる[3件]
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然がたくさん残っていて、あまり観光地化されていないところが良いと思う ・自然が豊かな町[6件] ・田園風景[2件] ・なつめ ・柿
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・荒城郷の寺院等がある ・若者が伝統文化の継承をがんばっている ・歴史的文化財が多くある町[6件] ・歴史文化遺産の町で誇れる[2件] ・歴史文化のある町[4件] ・歴史・文化(国宝がある)を生かしていく ・文化と歴史のまち、ひだ国府 ・古代から中世の歴史文化遺産が豊富で、高山中心部にはないものも多く、高山市のみならず、飛驒地域を代表する資源が多い ・「歴史の町」であるという共通認識があり、その思いや誇りが地域の絆となりうる ・祭りが続いている ・町並が美しい。景観の良さ ・荒城地区に盆の「ごしょうらい」がある
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業が盛ん

安全・安心	・災害が少ない[2 件]
福祉	・子育て環境がいい ・福祉
その他	・昔から財政に困ることはない町(交通便利)

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に対して若者の関心が少ない ・まち協に若い担い手がない ・地域活動への参加が少ない ・自分ではなかなか活動しようとなし。自分の楽しいことには参加する ・町全体の連携が少ない(災害対策等でも)[2 件]
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・山に囲まれているため、災害が心配 ・災害危険区域が広い ・活断層が走っているが、災害がないため、危機感がない ・災害への危機意識が低い[2 件]
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・独居老人が多い[3 件] ・少子化で祭りができなくなるのではないかと[3 件] ・少子化が進んでいる ・若者の流出 ・学んだことが発揮できないため、外へ出て行ってしまふ ・Uターンしたくても帰ってこられない[2 件] ・後継者がいない ・新規転入者の取り込みが不十分
働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所がない[4 件] ・働く場所がなく、住宅地化の傾向となっている ・就労基盤が弱い ・給料が安いと、若者が残れない ・若者を呼び込む職場がない
資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかくの文化財を PR できていない ・文化財を集約した拠点(文化財保存)がないため、活かされてない ・資源があるが、活かされていない ・文化財が活かされていない ・文化財の良さに気づかない住民もいる。それは、文化財をきちんと保管・展示して紹介できるような場がないためと思う ・埋もれている文化財の発掘 ・文化財の適切な収蔵施設がなく、未来に継承すべき文化財が個人や町内会(神社)の管理に帰している。結果、所蔵(管理)者の世代交代等により、守るべき文化財が散逸・滅失の危機に瀕している ・歴史文化遺産の保存状態が年々悪くなっている(マンパワー、建物) ・子どもたちをはじめ地域住民が、ふるさとの歴史・文化を学習できる展示・学習・交流施設がない
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な産業が少ない[2 件] ・商業・産業の面では、地域としての特産品に乏しい印象がある

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国府町といたらこれだ、というものが無い ・団結力が弱い ・遠慮気味。ノリが悪い ・人間性がまるい ・競争心が少ない[3件] ・雪が多い ・地区により、生活の差があるのではないか ・駅前を中心とした賑わいがなくなってきている ・危機意識がない ・今まですべてを行政やお金持ちの人々に頼ってきていた点がある ・行政が積極的に地域に働きかけてほしい ・発想が少ない(文化財系) ・担い手不足 ・保育園・小学校・中学校が1校ずつなので、高校に入ったときに戸惑う。進学した時、知らない人とクラスメートとなるという経験が高校進学までない
-----	--

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代にも関心を持ってもらい、役員としても参加してほしい ・まち協役員の後継者がいるか不安 ・歴史の取り組みにおいて、若い世代の担い手が十分にいないのが課題 ・歴史・文化を国府地域住民に興味・関心を持ってもらう活動を展開している[2件] ・てんこもりツアーや歴史教室などで、国府町の新たな魅力を知ってもらうことができた[2件] ・特別委員会(飛騨国府歴史まちづくりネットワーク)の設置による歴史まちづくり(モデル的事業)の取り組み [3件] ・歴史まちづくり推進事業。自分の町の歴史を知る。在住の人にも知らせる ・歴史まちづくりネットワークで住民の意識の底上げ(町内で5か所に分かれて行った歴史教室)。しかし、若い人の参加が少ない[4件] ・町内ツアーは地域外の人でも大変喜ばれる ・地域の歴史文化の学習機会を設けて講座を開き、好評である ・歴史活動については、成果が出ている ・歴史まちづくりネットワークで歴史講習会等の新しい行事を行っている ・各種大会が増えたことによって選手層が広がった ・若者の参加 ・夏祭りは大勢の参加が有る ・劇・コンサートなど住人の楽しみとなるような公演を開いてくれる
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会との連携が少し弱い点があるが、もっと町内会長との連携を強めながら、まち協の中で地域別に取り上げる点を作ったらどうか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代がスポーツで交流できている ・災害に対する危機意識が低い[2件] ・祭り等の伝統芸能が続いていかなくなる ・後継者の育成。若い担い手が少ない[2件] ・旧高山市在住者なども参加して歴史・文化を訪ねる

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のコミュニティが盛んになるような町 ・子どもからお年寄りまで絆深まる町 ・各年代・階層の相互交流の活発化 ・高校生等世代間交流。昔の遊び。語り継ぎ(広瀬町内会)
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の良さ、自然・環境の良さを知り、自信を持って住めるまちにする ・若い世代が住み続けたいと思える地域 ・3世代・4世代で家族が居住しているまち(同居ではなく、身近でいられる・会える・助け合えるという意味) ・大小問わず、数多くのコミュニティが形成されている町 ・自分たちで住みやすいまちづくりが進められる地域 ・先人たちが守り伝えてきた歴史・文化・自然の豊かな資源を後世にも伝えて行く地域。これらの宝物が地域住民のアイデンティティーになる(アイデンティティーの継承・再生産によるコミュニティの維持)
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の町 ・つながりを生み出す歴史(拠点施設、センター、活動拠点、観光ビジターセンター) ・歴史郷土館を整備し、観光資源として生かす ・強みである歴史文化を生かした町 ・国府の文化を大切に保存する意識をした町
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と老人ホームが一緒になったような施設があるといいと思う。若い夫婦と高齢者の接点がないので解消していきたい。上宝や古川との中間地点にある利点を利用できないか。子どもと祖父母との接点がなくなっている。独居老人が増えるなか、寂しい老後を若い子どもたちと過ごしてほしい ・高齢者と子供が一緒にふれ合える施設を作る[2件] ・保育・老人施設が一体となった施設のある町。子どもの教育、高齢者の認知症予防効果 ・高齢者が生き生きと生活できるまち ・福祉を産業化する ・子育てがしやすい地域 ・保育園から中学校は地域の大事な拠点として守ること
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に暮らせる町 ・自分の地域は自分で守る点をしっかり毎年防災訓練等を通じて、「どこに何があるのか」「どこへ逃げるのか」「隣の人達とどうやって連携するのか」「地域をどうつくるのか」等を確認することが大切 ・災害対策中心で地域をまとめたらどうか
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が来てくれた時に喜んでもらえる町。そのためには、住民一人ひとりが国府を誇れるようになってもらう ・観光都市高山を支所地域まで範囲を広げてにぎわう町 ・観光客に国府まで足を運んでもらう対策
働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・通年働ける職場づくり ・年代に応じて、充実して働ける ・子どもが元気で、若者が働きやすい(働く場所がある)まち ・進学で地域外へ出ても、戻って仕事や生活ができる地域 ・「働く場所がない」ではなく、働く場所を自分で作る若者(アントレプレナー)を育む。歴史まちづくりネットで子ども向けにやってみては
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・米・なつめの実る町

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まちが潤うような仕組みづくりをしていく ・平穏な静かな町 ・若者・転入者の増加を促進 ・域外の人も住みたいと思える地域 ・地域の活動等にもゆとりを持って参加できる。文化・歴史の継承。芸能文化の継承。スポーツ等の振興 ・元気な老人たちが中心で進めること ・自分たちでも資金を作り出し、活動に充てる地域をつくること ・各町内で特化した特徴づくり
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者との交流施設がほしい ・小規模宿泊施設の誘致 ・地域の特産品を生み出す ・のらマイカーは、曜日を決めて走らせたらどうか ・交通の要所なので、それを生かせないか。飛騨市・上宝の人が旧高山市に行く際に通過することが多い ・拠点機能の整備(支所機能、駐車場、跨線橋)[2件]

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生との意見交換の場がほしい[2件] ・高校生が参加する場を作ること(高校生が宙に浮いている) ・世代間を越えた交流[6件] ・子供会・老人会等で交流[2件] ・まち協・市等で、様々な年代・地域の人達の交流できる場(イベント・文化事業等)を作っていく ・夏祭りに参加する若者は多いが、企画して音頭を取る若者が少ない。小さいころから企画して達成する喜び等を知らせる活動をしてほしい ・子どもが企画することに大人が参加する。子どもの発想を生かす ・地域の魅力を住民に再発見(再認識)してもらうことで、地域に対する誇りや愛着心を育み、特に若い世代がずっと住み続けたいと思えるような取り組みを具体的に進める
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害、異常気象等への対応を地域とともに取り組む(各地域によって異なると思う) ・安全安心なまちづくりを目指す。防災対策に主体的に取り組む
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の状況によるが、毎年役員が交代しないようにしてはどうか。毎年交代の役員では、良いまちづくりはできない ・まちづくり協議会が他地域と比べても活発だと感じており、現在の取り組みをさらに進める。合併して大きな市域となった結果、本庁の担当課だけではフォローしきれていない分野(文化財等)も少なくない。それをカバーする役割として、支所とまち協の機能が強くなるといい(人材の確保が課題) ・小さくても良いので、地域コミュニティの形成
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史教室(夏休みに小学校版)[2件] ・歴史教室について小学生を中心とし、老人クラブとの交流を通じながら行う ・文化財保存・活用の拠点施設[2件] ・国府の文化遺産の継承活動 ・地元の歴史文化の学習 ・日本遺産をモデルに、「国府遺産」として地域に根差した取組みを展開していきたい ・国府の史跡の実証を地域と市で取り組むこと

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のなかや歴まちネットを大人から子どもへ ・歴史文化基本構想(地域計画)を活かす
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全をすることが住みやすいまちづくりの一つである。市全体として、農山村の田園風景を守る取り組み
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の里の利便性、拠点的なもの ・医療機関や地域的利便性を生かして、福祉機関を集中した地域づくりを
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園から中学校を守ってほしい ・現在、保育園と小学校の南舎が木造であるが、将来北舎の建て替えがあるときは木造校舎にして、国府の子どものために教育環境をより充実させた方がいい ・子どもにも地域の良さを知らせる ・地域社会人の育成
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・支所地域の活性化を図る ・特産品の開発 ・のらマイカーをバスからタクシーへ(小型化) ・のらマイカーの利用方法。国府は歩いてみて回ることが不可能なため、観光客が利用できるようにしたらどうか

その他意見、提案

<ul style="list-style-type: none"> ・観光は、支所地域も含め各地に広がるスタイルで進めてほしい ・この地域には、広瀬の山城や沢登りができる木地屋溪谷など魅力のある場所がいろいろあるので、林道を整備して、広い範囲の観光、景観に手を打ってほしい ・支所地域に観光の目を向けてほしい。例えば JR 飛驒国府駅にあれば、バスを利用して国府全体を回れるようにするなど、高山市全体でPRし、支所に足を伸ばしてもらえるように考えていただきたい ・観光施策については、連泊・滞在型観光を推進してはどうか。支所地域についても具体的なコースをパンフレットに掲載してほしい ・景観は重要である。耕作放棄地はススキが生い茂っている。農林分野は近隣の自治体との連携が必要。田畑・山の手入れに対して補償してはどうか。飛驒の景観を良くする具体的な施策がないので考えてほしい ・避難所は、停電しても対応できる体制がとれるようにしてほしい ・屋外の防災行政無線は、雨が降ると聞こえなくなる。高齢者にとっては防災ラジオが一番いいので、普及を進めていただきたい ・屋外の防災行政無線の音が反響して聞こえないので、総点検してほしい。防災ラジオを全戸配布できないか ・地域のまちづくりの方向性を考えるにあたっては、意見交換会の2時間だけで市民意見を把握できるのか。調査分析はどういった方法で進めているのか。もっと生の声を聞く機会を設けていただきたい

地域のまちづくりに関する意見

地域名（ 上宝 ）

11月21日（水） 19:00～20:40

参加人数34人

①お住まいの地域の特徴（地域の資源や環境、取り組みなどの良い点、課題など） 強み[地域の良い点]

地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷は中山間地の中では比較的平坦な耕地が多くあり、農業に適した地域である ・都会の人の通勤距離を考えると富山も圏内のため、環境は良い
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・近所・地域内での人とのつながりが深い[3件] ・隣近所との付き合い[3件] ・軒数が少ないのでまとまる ・人口の少ない地域だからこそその協力し合えるところ ・助け合い、まとまり[3件] ・地域の名前等皆わかっていることで、何かあったとき助け合える ・近所の支え合い。お互い様 ・地域のまとまりがある(18戸)[2件] ・地域の連帯感 ・地域で子どもを育てる(全世帯)[2件] ・人間に温かさがある ・人的環境が良い
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会でのまとまり ・団塊世代が元気であり、地域活動や敬老会等の活動が盛んである[2件] ・祭りの支え手が少なくなってきたが、若い人たちが一生懸命やっている ・PTA 準会員の方が多くいてありがたい
観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉がある[10件] ・観光地で国内外から多くの観光客が来る ・道の駅及びオートキャンプ場があり、夏場は大変にぎわっている[2件] ・スキー ・観光資源に恵まれている[2件] ・登山者はブームなのか増えている
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・中部山岳国立公園内にある[3件] ・日本を代表する飛騨山脈(北アルプス)の麓に位置する[2件] ・おいしい豊富な水[2件] ・双六溪谷と清流[3件] ・水・空気・景観 ・紅葉 ・山 ・自然が豊か[13件] ・景観がいい[3件] ・雪が多い ・中尾地区には、自然エネルギーがある ・自然エネルギーに希望がある(地熱・水力・風力等) ・自然環境はとても良いと思うが、過疎化は止まらない
歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・大原騒動発祥の地(本郷村善九郎)[2件] ・福地の化石[3件]

	<ul style="list-style-type: none"> ・文化伝統 ・祭りを続けている ・例祭の行列について、人口の減少により、継続が危惧されているが、若連中世代の頑張り で少ない人数のなかでも続けている
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一おいしい米[3件] ・ブランド米 ・農業ができる[2件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・細やかな人情 ・農業中心でサラリーマン世帯が多い ・農業法人による農地集約化 ・耕作放棄地の減少 ・除雪がいい[2件] ・Uターンしてみても住みやすい ・安全安心で住みやすい ・犯罪発生率が低い ・大きな災害がなく、のどかな地域である ・災害が少ない ・5～6年前に大学生を呼び、各家の明かりで夜景演出(長倉) ・東の観光、西の農業 ・静かな生活ができる

弱み[地域の課題]

地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的行事への参加 ・皆で何かを成し遂げようとする力 ・役が多い ・労働力を要する活動が高齢化により数年後、困難になっていく
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策が不十分
人口減少(少子高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少[9件] ・若年層の人口が少ない[5件] ・Uターン者が少ない ・地域構成員の減少。地域が存続できない ・若い夫婦が高山地区へ出ていく ・地域外(高山中心部)に住む人が多くなり、若連中は65歳位まで(福地は80歳) ・高齢化[14件] ・高齢者単身世帯の増加[2件] ・高齢化に伴う旅館業の廃業 ・少子化[5件] ・少子高齢化により継承者がいない[2件] ・子どもが少なくなり、以前のような子ども会等の活動ができなくなってきた[2件] ・働き手の確保が困難。人手不足(募集しても来ない)[4件] ・常会の参加者が少ない。減少幅が大きい
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教育的・文化的体験の機会が少ない
地理的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・自然は豊かだが、不便 ・山間部は寒く、お金がかかる[2件] ・緊急医療[2件]

	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が遠い、ない[8 件] ・役所が遠い ・高校へ行くのに大変 ・買い物が困難[4 件] ・どこへ行くにも車等が必要 ・交通アクセスが悪い、不便[13 件] ・高速道路へのアクセスが悪い ・富山・長野方面へのアクセスが悪い ・遠隔地にあり、二次交通等のアクセスの悪さがある ・中央での会議に移動時間がかかり過ぎる
働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・産業が少ない。選択できない ・仕事がない[4 件] ・若者の職種・職場が少ない[6 件]
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・雪が多い。除雪が大変[4 件] ・道が悪い ・交通網・道路整備の遅れ
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が整っていない ・市中心部や神岡町までのバスの便が悪い[4 件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎 ・廃れた印象[3 件] ・ライフライン(上水道等)が整備されていない[2 件] ・大型スーパー(品揃え) ・店舗が少なくなっている[3 件] ・時給の高騰 ・観光客の減少 ・観光資源はあるが、生かしていない。ニーズに合っていない[2 件] ・外国人観光客は来るが、対応が弱い[2 件] ・フリーWi-fi の整備(外国人観光客向けにバス停に)[2 件] ・地域差(上宝地区、奥飛騨温泉郷) ・地域での生活費の差がある(ガソリン・灯油代等) ・祭り ・獣害(サル、熊、イノシシ)[3 件] ・耕作放棄地の増加[3 件] ・農業法人にがんばってほしい ・集落の形態を保っているが、この先はどうなっていくのか。革新的な農業を考えるべき ・手入れされていない杉林が多い ・空家がある ・中尾地区は電線が多すぎる[2 件] ・自然エネルギーが活用されていない ・飛騨市と高山市の行政分断により、昔の高原郷のつながりが薄れた[2 件] ・塩化カルシウムによる塩害 ・親が背中を見せていない。がんばる姿を子に見せてほしい ・PR の仕方 ・高齢者の除雪 ・結婚が難しい

②まち協などの地域活動の成果等（地域での取り組みの成果、課題、改善点など）

助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り等で住民同士協力して地域の景観保全ができています[3件]
活動姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供で国道の側溝ができた ・支所に代わって町内の修繕の計画をしている ・文化活動を行っている ・まち協役員はがんばっていると思うが、活動が見えにくいと思う。社協もがんばっていると思うが、特定の人達だけが苦勞しているように思える ・たからまち協は補助金制度をとっているため、活動が見えにくい ・登録団体がいろいろなことに補助金をもらって活動できる ・まち協から補助等を受けていて、町内会の事業ができるのは助かっている ・各集落ごとに奉仕活動(草刈・整備作業)を行うことにより、地域の団結ができています ・住民皆で参加できる活動はどんな方法でも続けるべきだと思う。交流を途切れさせない ・まち協で開催するパソコン講座や英会話教室等には高齢者も多く参加しており、継続してほしい ・氷見との交流
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協と社協の住み分けと仕事の分離[2件] ・町内会との連携
人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・会えない人と会える ・日頃会えない人と話ることができる ・交流ができる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ要望を何回提出してもなかなか実施してもらえない ・制約が多い ・要望書等分かりづらい ・社協行事を引き継いでいるような状況 ・一般の認識が低い ・若連中の活動、神楽・獅子舞等の伝承 ・市担当者は理想論が多くてついていけない ・まち協と連合町内会(単一の町内会も含む)との関係性がはっきりしない。二重構造になっている面があるし、まち協の活動が見えにくくなっているのではないかと

③お住まいの地域の将来像（どのような地域（まち）にしたいですか）

人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで通り、地域内の交流があるまち ・地域のつながりを大切にしたい温かなまち[2件] ・人のつながりを大切にするまち ・自然と人のつながりを活かし、心豊かで健全な子どもが育つまち ・若連中と高齢者の連携[2件] ・連帯感を持って地域を守っていく ・地域の人が団結して、住みよいまちづくりにする ・積極的な奉仕作業等を実施することにより、現在ののどかな景観を維持し、また近所付き合いを大切にするまちづくり(他県から移住したいまちづくり) ・子どもから高齢者まで元気で明るいまち。活発な活動 ・若者は地域活動を中心に進め、高齢者は知識や経験を伝え、相互に連携する。
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・横のつながり(近所付き合い)を活かし、助け合いをする町 ・高齢化社会なりの共助のまちづくり

	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代間で協力できるまちづくりを活かす
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきとしたふるさと ・元気な高齢者から若者へ教え、伝えていく ・今、外へ出ていっている人たちが、将来はもう一度この町に住みたいと思える将来像が望ましい
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどの伝統文化や農業等を続けていく
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然(温泉・山岳・田園風景)を活かして集客し、人々が生き生きとする町 ・自然の恵みを活かし、豊かな暮らしができるまち ・自然を守りながら、安心して暮らせるまちづくり ・自然エネルギー(水力含む)を活用するまち[4件]
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な温泉を利用した仕事 ・温泉を生かし、自然を大切に、皆が訪れたい地域 ・温泉があるため、温泉施設を作り、観光の魅力をアップする ・奥飛騨温泉郷全体が資源を活用し、連携しあえる地域 ・奥飛騨温泉郷の5つの温泉が協力して温泉郷おこしをすれば、どこにも負けない地域になると考える[3件] ・観光資源を最大限に活用してPRし、活気があるまち ・自然資源を生かし、交流人口を増やす(奥飛騨の観光業)
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業地域のため、観光農業 ・農地・土地のオーナー化 ・農地の活用、耕作放棄地の利用 ・農業の振興(新しい取り組み) ・上宝町は日本中から若い農業志望者を移住させるような試みを実行すれば、いい地域になると考えている
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住みやすい町。気軽に出かけたいときに出られる ・シルバー人材センターではないボランティア団体の創設。元気なお年寄りが多い
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の豊かさを守りながら、安心して暮らせる地域。「衣食住」の確保。生活費の確保(農林業で生活できると良い)
若者	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちが結婚できるような地域 ・若い人が住みついてくれる(結婚・定住) ・若者が帰ってきやすいまちづくり ・自然豊かで若者が元気に安定して働ける地域 ・若者が働ける温泉企業を育てる ・立地の良さを活かし、若者の定住するまちづくり(職場づくり) ・若い従業員の働くモチベーションを上げる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の合併・統合を進める ・活気のある地域にしたい[2件] ・元気のある(若い人が多い)観光地・(工夫した)農業 ・観光と農業のつながりを深める(農林業で生活できるように、収入増につながらないか) ・上宝町の農業と奥飛騨温泉郷の観光をつなげる取り組み(新たな産業振興につながる) ・魅力ある農村 ・高齢化しているが、水田以外の作物で小遣い稼ぎできる年齢なので、挑戦してはどうか。意外とはまる人がいる ・子どもが増えて、祭り等賑やかな地域にしたい ・子どもを大切に作る温かなまち[2件]

	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少ストップの町 ・脱高齢化の町 ・移住したいまちづくり ・新たな産業づくりに取り組む ・林業の活用。林業の活性化[3件] ・地産地消 ・住宅の問題 ・空家の利用[2件] ・若い人 ・静かに生活する ・U・Iターンが円滑にいくような補助金の創設
--	---

④将来の地域のため取り組めること（お住まいの地域の将来像の実現に向けて取り組めること）

1. 地域が取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での交流 ・住民同士の交流を絶やさないこと ・高齢者の生きがい、交流 ・若い住民や従業員の交流の場を増やし、地域に根付いてくれる取り組みが必要 ・移住者との付き合い(どこまで求めるのか) ・たびたび声をかける ・いくつになっても元気でいられるように外へ出て、皆に会い、活動する ・高齢者と子どものつながりを深めた社会づくり ・人と人とのつながりを大切に ・支え合い(地域で高齢者を支えること) ・支え合い、お互い様を大切にして、産業づくり ・支え合い、お互い様を大切にして、移住者の受け入れ
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活のなかでの安否確認や防災活動
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の情報共有と発信 ・まち協役員の人達はとてもがんばっていると思うが、その活動は少し見えにくいのかもかもしれないと思う。社協も大変がんばっていると思うが、特定の人達だけが苦勞しているように思える ・きれいな町 ・草刈り、用水路の管理等、地域環境や景観の保全 ・積極的な奉仕活動。景観維持 ・まち協で楽しいイベント等を企画し、外に出て参加しやすくする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト・ハードの維持管理 ・意識改革 ・お年寄りの活用 ・伝統文化を引き継ぎ、受け継ぐ[2件] ・移住者が住みやすい環境づくり(旧来の風習、きまりの解消) ・転入者への協力 ・地域をオープンにする ・若い人が住みついてくれる ・戻ってこられる地域

	<ul style="list-style-type: none"> ・空家・温泉を利用し、I・U ターンにつなげる ・空家の利用[2 件] ・空家を別荘にしてお客さんと呼ぶ。住宅をリフォームして、そこから通勤してもらう ・空家の提供(旅館従業員等) ・病院を作る ・産業づくりへの協力 ・創意工夫した革新的な農業を進める ・林業・植林の手入れ ・景観の維持 ・道路整備 ・現状で精いっぱい(普請作業)[2 件] ・高齢者の方に農作物、土地活用 ・5 つの温泉地が協力し合って発展・レベルアップする。独り勝ちでは成功しない
--	--

2. 地域と市で取り組むこと

交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルづくり ・近所づきあいのアプリ・シェア ・独居老人と不在親族とのコミュニケーション(見守り通報システム)
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と市はすべてにおいてコミュニケーション不足だと思う ・意見交換を定期的に続けること
防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災の強化 ・災害の恐れのある時に、命を守る行動につなげることを考えて、避難場所・経路の確保を図っていく
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの支援を受けて地域活動の継続 ・草刈り作業や公民館などの修繕費用等のため補助金増額 ・指導者の養成 ・町内付き合いをしたくない人を何とかする必要がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な PR ・次世代が戻ってきたくなる、地域としても呼び寄せたくなる地域づくり ・他地域からの移住等(住みやすさ)の希望が多くなるような地域づくり ・住宅の問題 ・空家の情報発信 ・農地の利用計画 ・土地の利用計画(本当に守る土地の明確化) ・自然を大事にする ・最低限の生活水準の確保 ・ライフラインの確保

3. 市が取り組むこと

防災・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の確保 ・避難経路としての道路網整備
---------	--

地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度の理解促進 ・助成、事業への提案 ・助成制度の分かりやすいPR ・市の補助制度が分かりにくい ・まち協での取り決めが多すぎる。規制緩和[2件]
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・道路等の可能な限りのインフラ整備[2件] ・交通対策 ・早期の道路整備(十三墓峠等)[5件] ・管内の道路整備等をもっと県や国にも働きかけてほしい
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通体系の再構築 ・二次交通の整備(観光客・高齢者対策) ・公共交通の充実(コミュニティバス等)[2件] ・市街地及び神岡町地内まで対象とした交通体系の再構築。濃飛バスとの兼ね合い。(例えば乗り合いタクシー等) ・のらマイカーだけでなくタクシー車両を利用した少量輸送の充実を ・上宝専用の近所の助け合いアプリの開発。シェアカーで買い物や病院への乗り合い
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療の充実(救急車を上宝にも) ・診療所、歯科診療所の充実 ・病院
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興(TVコマーシャル) ・奥飛騨の活性化に期待する人が多いので、目的税である入湯税の還元を増やしてほしい ・アクセスを整備し工場を誘致 ・農家支援 ・林業の支援(自然環境保全)[2件]
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏を重視し、行政区域を越えた施策の推進(神岡町までののらマイカー、火葬場の利用等) ・買い物の充実 ・今生活している人たちを大切にす ・ビックアリーナ付近のスポーツ施設の規模拡大 ・今まで以上に大きな大会のできる球場場及び陸上競技場等の整備 ・ハード面での環境整備(外国人観光客向けの看板、Wi-fi等) ・営利目的とはいえ、温泉や旅館は地域の文化・資源であるため、援助をできる体制を ・全地域一緒ではなくても、過疎地に住む子ども・高齢者に対して、特区的なことがあってもいいのでは(交通費の助成増、保育料の割引等) ・獣害対策は、市がもっと取り組むべき課題と強く思っている。獣害ゼロを目指す抜本的対策が必要 ・I・Uターン、子育て支援の強化[3件] ・若い人を受け入れる受け皿づくり ・空き家バンク ・空家の有効利用[2件] ・空家のマッチングやリフォーム。移住者の受け入れ ・転入者の仕事の斡旋[3件] ・自然エネルギー推進・活用(太陽光発電、水力発電等)[3件] ・助成 ・行政の区域による不公平感をなくすこと

その他意見、提案

- ・ハザードマップは、できれば避難経路も含めて安全な場所を示してほしい
- ・安房峠道路の無料化と上宝バイパスの促進
- ・現在、中部縦貫自動車道は清見から高山ICまで無料となっていて、丹生川ICまで無料の予定である。今後、平湯ICまで接続が進んだ場合、安房峠道路が有料のままだと、中部縦貫自動車道も有料化になる恐れがあるので、早急に無料化を進めてほしい
- ・中部縦貫道が丹生川から平湯につながった場合も、国府バイパスのような上宝町へのアクセス道路を計画してほしい